ジュネ

ウ軍縮會議

か

6

暗殺され、関男又同じ接に臨れた、現に権力の地位になきもれた、現に権力の地位になきものが實業家が兇變に會ふには今日始めてだ、其の中引力目的共に職暴極まるは云ふ迄もない、両も彼等の非難する處の事質は、両も彼等の非難する。なにまた下層階級に破るので引力に責任が生じて來る、なにまた下層階級に政治の事情が見い、

保護に努めた、今やこの政治のである、為政者は先づ職業を奥一へればならの疾病に関する國家治療機關の必要もある、法る議會の始め自分が 台北處に在る、政治の職所に関する國家治療機關の必要もある、法る議會の始近ででなるに缺りに多くの優正を行なび被選舉年齢を二十歳位には金かければ普選出來の場所と認率なるによりである。

郊

圓卓會議停頓狀態

『東京七日餐』陸軍省着電=五日 英佛伊公使館附近電は武茹、南翔 京定な観察した結果 からかは、 を停止せる事

全に保護せられ居る事員新無電臺が我軍の手に依り

茜涇に來襲

敵部隊三千

ム閣議で對策を協議

調は蔣介花が委員長さする軍事委『北平七日發』洛陽の中央政治會

李宗は、競學良、陳際祭、陳鎔福

等を同會委員に任命した

停戰確認

に立て羅練的反抗の企圖を避らす 政府直窓車電學校學生等を第一線 で立て羅練的反抗の企圖を避らす

五日現地調查

が高いでは、 ででは、 でいる。 でい。 でいる。 でい。

下關係官出際、大角海根、左近司次官以 た提供し正午會見を終こ に職會、大角海根、左近司次官以 た提供し正午會見を終こ に種々日支膨胀に関す こ 日本の公正なる所は たが ながれる 東京七日祭 海軍監視さ支那郷 事態、上海事態等に関す

を提供し正午會見な窓のを提供し正午會見な窓の

世人ともた酸単は附近の診臓氏を 野か記したが我単に繋渡され診臓 既だけ変して逐域した、酸の大部 に大倉より像山が館に向け遊場 中で我単は現在線より一歩も出で を な成してるる

る調査資格

時にして國内相望ふ時に非らず一時的戰略變更(上海の總退却を指す)あるも抵抗の決心は水軍隊は對日長期抵抗の決心を抱き率令を統一し指揮の敏速を期すべし、今日は我民國の生存を七日賢』落陽の第二次中央全體會語に昨日閉會されたが滿場一致左の如き抗日賞言を通過した一七日賢』落陽の第二次中央全體會語に昨日閉會されたが滿場一致左の如き抗日賞言を通過した

致で宣言通過

議

名の海軍航空隊は「風力驟南方百名の海軍航空隊は「風力驟南方」

を養見郷重に罹に戦め操作り現場をうた小錦頸栗の空、機翼の一部で、芥川三等兵曹三氏の御及び焼

には出木の墓標を樹て此處を引つ

| 上海七日教] 確實な徹息による 後がに概整の兵力な支那側は某國際人を自動車トラ らしく停暖に離れてさ支那側は某國際人を自動車トラ らしく停暖に離れて

の○個○除は獅子林破繁に前畿中の○個○除は獅子林破繁に前畿中日章旅の網るな登見されが敵兵店でおいて作子要のの際がである事地のといい。 では大変では、一大大変に対して、一大大変に発行されて、一大大変に対して、一大大変に対して、一大大変には、一大大変に対して、一大大変に対して、一大大変に対して、一大大変に対して、一大大変に対して、一大大変に対して、一大大変に対して、一大大変に対して、一大大変に対して、一大大変に対して、一大大変に対して、一大大変に対して、一大な変に対しなが、一大な変に対しなが、一大な変に対しなが、一大な変に対しなが、一大な変に対しなが、一大な変に対しなが、一大な変に対しなが、一大な変に対して、一大な変に対しなが、一大な変に対しなが、一大な変に対しなが変に対しなが変に対しながではながなが変に対しなが、一大な変に対しなが変に対しながではないができながなる。

崑山以西に

陣地構築

海軍當局から

詳細に說

更に後退

【劉河鎮七日發】今朝劉河を包圍

支那調查委員一行

H

軍事委員會や組織

上海事件と同様程度に取扱はれる事は既定の事實と觀られてをり、支那代表はこれを經療に盛んに上海事件と同様程度に取扱はれる事は既定の事實と觀られてをり、支那代表はこれを經療に盛んとを任命、決議文を起草せしめ、日支紛爭に對する總會の意思を表明する豫定である、低い心密であったが、幹部會の意向としては、本日の會議を以つて一旦一般の討議を打切り別に委員ンユネーヴ七日發』聯盟總會第四日は午後三時代から一經委員會が開かれ、英強機サイモン氏その他小國代表の一般能誘診が

支那代表虚報を

み宣傳

五十五名である

劉家鎭に向け前進する約三千の選集中の模様ありしが、全朝來五日來支那軍は太倉附近に兵力

中 に分れ太倉房岬に進出し來り全朝。 一 中 調整に野して攻撃し來った、この が 我軍 は同 地響で が 我軍 は 同 地響で が 我軍 は 同 地響で が 我軍 は 同 地響で が 歌に 変 される

遺骨發見

停戦に隠れ

偽造日章旗で わが軍を騙す

戦備を急

黄渡後方の支那

海軍機遭難者

一努めてゐる

盟總會の決議

門問題取

支那空軍 に在

司令長官は十日旗艦安宅に塔の上海七日登」原澤第一遺外

各方面に非常なセンセーションをに射落され既落場死を遂げた事は

意起したが、支那空軍に加つて日

であり、目下フキリッピンで融彩であり、目下フキリッピンで融彩であり、同氏は支那空軍所殿の外國を批ざ、同氏は支那空軍所殿の外國を批ざ、同氏は支那空軍所殿の外國を記された頃にはアメリカ人二名合計をおきれた頃にはアメリカ人で名の外國人が飛行教官さして名の外國人が飛行教官さして、支那軍隊に所屬してゐた、支那軍隊に所屬してゐた、支那軍隊に所屬してゐた、支那軍飛行士は未だ航空の追撃機の操縦はいため高速度の追撃機の操縦はいため高速度の追撃機の操縦はいため高速度の追撃機の操縦はいため高速度の追撃機の操縦はいため高速度の追撃機の操縦はが、大馬にある。飛鹿場をはいた。

ガムマン氏

してゐるのを反駁して 日本人は飛行術の智熱に必要な 素質を有してゐるものであつて 素質を有してゐるものであつて 素質を有してゐるものであつて 素質を有してゐるものであつて 素質を有して、日本人は降年戦闘機の操 とて、日本人は降軍戦闘機の操 して、日本人は降軍戦闘機の操 して、日本人は降軍戦闘機の操 して、日本人は降軍戦闘機の操 して、日本人は降軍戦闘機の操 して、日本人は降軍戦闘機の操

フキリッピン人及びその他の東洋 本人な凌駕するものであるで主張 著の素質を有じてぬす。

七日龍口より入港せる船

展りを必要さするものであるが、 振りを必要さするもので空中眼の効 呼職を有しないので空中眼の効 に記述してあるが、 がなかくの軍態である 龍口でも から戦勝祝ひ

でがすな

ひ洩すな!!

切切

なが、では、これの無智な土着民な変が不便な土地の無智な土着民なでが、大きにも非日運動を起きんさ目下でがでは、一世の無智な土着民などが、これの無智な土着民などのでは、これの無智な土着民などのでは、これの

排目と金はれた真操

す解分に横縦を那支の ◇娘子軍出行

のもたらすごろによるご上海における動能に難日を爆動してる 一様を貼付し裏ら排目を爆動してる 一様では上海における動能で を除べば上海における戦態し支那車 大勝、日本軍計会管自能大務地廣

。戦地は清潔娘子軍品

公井 属吉

州田願太命

さ支那人は闘北江橋が日本軍の為ら古領映場されたに野し之が復襲とれたに野し之が復襲とれたに野したが後襲となる。 本人居住地區に放火し之を焼掘ふ 勝談で会が行ばれ龍口市中は服の をでは、或がは日軍の死際級三萬 これる、或がは日軍の死際級三萬 に四日より三日間に取り歴大な戦 が唯分無響な支那融民はこれを信

商標展覽會で

支那軍士たも挑戦

○○のわが前哨部隊に對して

我軍隱忍して對峙中

日清汽船員を

佛租界で毆打

とてゐる處な佛祖界工部局響察に 「殿打され電腦を真の往來に管館」を脱列しこの融標的る品に資ふな 事係村田繋が昨夜佛祖界で支那人 されてゐるが日本商品の商標全部 事に対しての意味的る品に資ふな [南京七日發] 市立職業指導 排日貨の宣傳

支那教科書

◇上海事變に對する一考察武藤

◆史的上海影達史

那部之總

宣統帝を語る

物俊 太 郎 藤

* 3

◇銃

奇

阿部德二

內大臣後任詮衡 園公上京要件の一 2

間とて総談した、今回西園寺公の一様する事さなつた、師ちこの調が聞と同四時には鈴木像鑑長も訴。とてその愛用級十五萬圓を掘出。またり乗る特別議會に追加後第後二時駿河麓の本邸に西園寺公の一様する事さなつた、師ちこの調を見る派遣する。

開招地がにおいて派遣軍隊で連絡

、鑢産物(主ごして金鍍及び鉛品の調査) 品の調査) 品の調査) 、滿蒙における各國の貿易狀態 及び製鉛業その地震業原料 いる本議各種取引助長の調査を 及び在議各種取引助長の調査を ない在議各種取引助長の調査を ない在議各種取引助長の調査を ない在議各種取引助長の調査を ないをはいる各國のである

田

ル 大統領

取 頭

狙撃され貧傷

吳淞鎮地方民 盛んに掠奪

制は淺かつた刺客は反對派の一員の中刺客のため肩先を狙撃されたが

四月·春 特輯号

全◇ 肉

百 町保神通 + 田神・京東

殿 八七五八話電·話播盤常連大

場馬 江庄場馬 ルトクド

本言之小-地掛二一断狹若市連 (前院医男岩) **② 乔斗 岗** 一断狭若市連大 紫

大連若狹町三(高通人) 入院室完備

暗黑街

外 東京 学 | **5工** 三 三 野 エ 医 治 電

坭

室案診男岩 室案診科保

员

院醫科密森藤



間後管脈で左の妲く語った

け閣議は本

を大使館附武官が非外級大官以下 1ットン解以下十三名英、米、佛 後祭時代館邸に職盟支那調査委員 、東京七日登 荒木陰様は七日午

【劉河鎮七日發】厚東〇傳管五

厚東O團死傷者數

動削近が支那軍撤退の際大

郷沖鍼西が西巡に來襲しつゝあり機の体察によれば蘇部隊統三千は機の体察によれば蘇部隊統三千は 引繼 金澤〇團警備

南市上海平靜

これ他で陣容を並直し蘇州から二路の戦するさ概し上前霊様軍の援兵を戦し上前霊様軍の援兵を戦し上前霊様軍の援兵を戦した前監様軍の援兵を攻撃をある。南 嚴重防備命令

分通り開店

所に禁じて之所吸塞線影が揺はれた事に対したが影響を盛んに賦かした大場線附近では酒、味噌等の醸造した大場線附近では酒、味噌等の醸造 焼拂ひゃ計畫

上海、南市も

【上海七日發】支那側情報に依る

から満蒙地方の資敵遊に智器矩態と機合に敵工名では同智優日の立場では同智優日の立場 協議するためさ見られてゐる 資源調查費 商工省の滿蒙

野内大臣が鮮意を洩らして その後低語館につき府中方館で 像で牧

開東 藤幹 へ へとしン 関東 藤幹 へ へとしン 関東 藤野 へ へとしン 長官官房文書課長来務 た命す 電報報告主任を命す 国東顧事務官 田邊 秀雄 国東朝告主任を免す という には 一般 では 一般 では いっこう では いっこう は な いっこう は は いっこう いっこう は いっこう

旗

1 (同志の烈しい姿を)

合

滞獨州行狀

記

| 名 川 茂 信

昨夜突如海林を襲撃す 反吉林軍

四園寺公を訪問後に

養首相

時局談

悪鼠は髪甲が車に全部引揚を命ぜられた、これがため電像や酸さなつた『長春電話』都髪甲列車に避難す、又第二報十時五十分長春裏所着電によれば海林にて盛に銃火た交へつ、あり汲む日午後十時半長春裏所着電によれば同夜線二千の反吉林軍は海林を襲撃すさの報あり、派遣蛇は全七日午後十時半長春裏所着電によれば同夜線二千の反吉林軍は海林を襲撃すさの報あり、派遣蛇は全 以吉林軍數 十名が

動戦闘の街人

夜の日本・大阪の卷

本誌特派記者

電話』
〇中隊に出動命令を登したこれがため同隊は七日夜十二時臨時列車にて長春養教化に急行した『長春し、敷化野帰の我軍からも駆復を求めて來たが開東軍命命部では長春に徐機中の獨立張佛隊の大隊第七日午後に至り 俄然敦化附近に迫ったため愈敵を感じた征徳振人は一大熊橋を探出した。より敦化再襲戦の目前で接近とつ、あった反吉林軍王德林一味の兵士数千名は四日ごろより敦化再襲戦の目前で接近とつ、あった反吉林軍王德林一味の兵士数千名は四日ごろより敦化再襲戦の目前で接近とつ、あった反吉林軍王德林一味の兵士数千名は 附近 が軍長春から出動 に迫る こは長春に徐機中の徽立宗修修O大陸第 たを殿を感じた在徳邦人は一大熊膝を整

密秘性女 科百

(和罪時節の失端だ!

藤井

博士尾形一郎

思に戦争を抱くの観あるも、若し 数対解及び園民の乱正なる意

では賛成出來ないさいふ

展行さいふ順調な新國家の成行に を整では貨幣の決定から避國式の が表集

古松倉長照合氏は臨時砂車を仕並時二十分長衛に強脅したが古椒繁同行態國式に髪砂することになつたが、神脈地支那客機は客になつの高質といふ感況である『長むめの高質といふ感況である『長むめの高質といふ感況である『長むめの高質といふ感況である『長むのの高質といふ感況である『長むのの音質を表現した。

大連市起債交涉

小川市長東拓を訪問

生婦のは愛保でこれを生験のは愛保でこれを生験のは愛保でこれを生験のは愛保でこれを

長春

の越國氣分は減々高潮されて行 ・

電話暴騰

支那客棧は滿員

長春着

學校衛生の

面目

る模様で既に確定せる者

滿鐵の各學校

技術局交長も 上旬齢連の像へ とも

馬占山氏八日

集するここさなり建信局に电議中 戦着の豫定 【長春電話】 を電話局ではこの際合帥電話を夢 正年二十九東支列車で來長の豫をして八日 で記録者に不便を軽へを看接さ 三時二十九東支列車で來長の豫定 とまで暴騰してゐる、これがため 黒龍江省長官専出山氏は七日午後

要人連の乗り込みで

は、時間と発動画式場にマイクロホン | 画に中郷放送する密 を表天関東軍通信部と日本放送協 整も離かれるAKではこの際史能 こ を表天関東軍通信部と日本放送協 整も離かれるAKではこの際史能 こ を表天関東軍通信部と日本放送協 整も離かれるAKではこの際史能 こ を表天関東軍通信部と日本放送協 整も離かれるAKではこの際史能 こ を表天関東軍通信部と日本放送協 を動かれるAKではこの際史能 こ

まり土地家屋の機底はもちろん物 まで二十五個の移転料さ七個の名 まで二十五個の移転料さ七個の名 がある。

東支西部総の主要人物及び呼倫貝 東支西部総の主要人物及び呼倫貝 が引鞭き徴々要人の到着で長裕 たが引鞭き徴々要人の到着で長裕 たが引鞭き徴々要人の到着で長裕

た。但も是れは停戦が前提修の爲めの圓阜會議開催を決議

さに決してゐる【長春電話】

會計監

ヤマトホテル

建國式や中繼放送

得儀氏の聲が聞える

北滿要人續々

満鐵硫安工業は

來月中には決

斯波局長等上

京用

硫安原料

イクを設けて

多分八日長報着の像定である『長 地の投稿客で満覧内田満蝦總裁も いたの投稿客で満覧内田満蝦總裁も

て、却つて上海の和平恢復を困 を改、機會や日の空氣は、支那 を改、機會や日の空氣は、支那 を改、機會や日の空氣は、支那 を改、機會や日の空氣は、支那 を改して不當の野望を懐かしめ で、日支以外の理事國全部さ、 他の代表者の過半数の費同があれば有効に可決し得るのである から、多数の認識不足は決して から、多数の認識不足は決して

られる。我國の立場は偽めに漸 を推議しなる。我國は固より無 を推議したが、今一層對支那軍の認 がのである。此點に於て吾人は がのである。此點に於て吾人は がのである。此點に於て吾人は 見らる【長春電話】 通信機關充實

者を求めて各道信機圏を始めその者を求めて各道信機圏を始めるので電 さしてその前後すこぶる多代を極長軽鉱便局では建國式當日を中心

すらさは傷中

況んや

継の異動を行った 正隆銀行では七日左の如く支店長

愈よ警戒開始

溥儀氏を訪れ

執政受諾を感謝

きのム迎接委員から

◆「驚いたあれで無い臓さは程も 不思議ださ思つてよ、あの人な んぞ歌皺受けてれ」程はこんな 野話を酔いて感じた、子供達も 大年生になるさ大性自分よりか 上だ下ださいふ程度の事は外る 無試験制度の怪

北京の地震は常り法

四時、岡野市助復原下谷縣長、宮田、矢野、蘇邦、総木谷委鼠出席の上暦舎され九時まで慎重番談の 滿鐵傍系會社 中の動車購入費は如

の會認能をなる。

学定である、また根稿 と必要さする就化皴碗 と必要さする就化皴碗 る滿洲小學校體操教授要目の打 の第一歩こして最も重要の部省の継定になる機機の継定になる機機

森 惣兵衛

東新引暴落 地場株低落

間除に取って無談をなすさころわ

親達。喜

熱と痛みが直ぐとれる

11人見敬之、書記宗澤直蔵、総澤 が一氏を弱め像特主事命甲教授大小一氏を弱め像特主事命甲教授大小一氏を弱め像特主事命甲教授大小一氏を弱め像特主事命甲教授大小一氏を弱め像特主事命甲教授大小一氏を弱め像相よ事命甲教授大小一氏を弱め像相よ事命甲教授 の総訳調査資料の代数、蒐集等がり総中御来集団係がないため各種事務に関する家庭さの職絡 各要路を訪問 れなかった観路を學 がかっるにおいては、悪龍も観に名手なれ、その龍の製作者が真に名する、 が、ま吹きも腱えやう、臓も液 が、ま吹きも腱えやう、臓も液 が、まできるでく ▲若も去 は個名である、微等の運動は一定 ・大震をである、微等の運動は一定 ・大震をである、微等の運動は一定 ・大震をでき、微等の公務する所なりと をものは自ら波を左右し、概くも をものは自ら波を左右し、概くも をものは自ら波を左右し、概くも をものは自ら波を左右し、概くも をものは言くとに私 り、背景ある壁の濃度者となる。土饒かなり陽を浴の犯人等に思いた。 程度であるがこ であるがこ ◆現物後場《銀起》 大豆、裸物四八八〇四八五〇 大豆、裸物四八八〇四八五〇 大豆低落 麻袋變らず 為替安で **◇定期後場**(単位錢) 大百九十二萬國 大百九十二萬國 大百七十四萬國 二二〇八八八〇〇 二二〇八八八〇〇 二二〇八八八〇〇 二二〇八八八〇〇 二二〇九八八〇〇 十九 九 十九 十九 十九

國際聯盟。支那問題 石井菊

一次に始めて切れた。 とに黙してがいる。 とに黙してがいる。 とに黙している。 というないのから、 ないのでは、 ないのから、 ないのが、 な

なって強國に在るに 変態の限りを据して、 変態の限りを据して、

本盛の變化を持ち來したこさーに 世界大戦が國民間の突

数に於て

旺盛なること

日本は國際職盟館立い来、その 整管なる監験者ことて不能の努力 を操ぐるものである。日本國際職 監管は國際平和に對する熱心に おいて他國の同僚、主義の努力 に設ちざる に対ける最高平和機関に適ちざる

が、支那援助に傾くからであら 會に於ける多數小國代表の演就 報が發生したのは、國際聯盟總

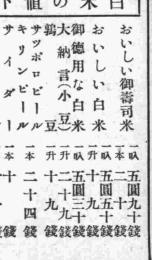
野の目脈だり、微劇我園の後級上 日支共諒さ共在及共繁さば我致 日支共諒さ共在及共繁さば我致

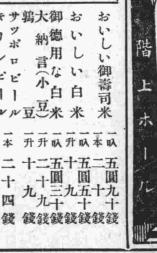
口九江における英國

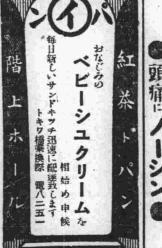
微濃的行動を試みたる後に更満

路日本正宗 **滿洲總發賣元設置記念のため 华河口元** 芳醇佳味、 デワー 町部八三〇四番

いし い御壽司 白白







頭痛

品質本位桝目確實配達迅速 電ニニー〇〇番

連鎖街の問屋大島屋

日米變動相場は

創見

堀江憲治氏

老年や子供づれ

〇會館の本

日

らびになる

から組立てら

無關心なのは遺憾など

つてあります。その球は全體が龜中形た

もありさうな大きなギラギラ

たポールが一つ品

、衣服の洗濯に必

三尺もありさうな大きなギラギラしたボールが一つ品レッシング、ボール(反射終環)です。長が秋の天井の中央に窓線真は昨日大連ヤマトホテルの東の間の天井に取付けられたレフ

いふやうな

彩光を撒

反射彩球の美しさ

ヤマトホテルの新設備

締態になるやうに考へてゐる方も中には花臓を深山使ひさへすれば用たあらはず時間がないのです。

ごく減りますがその割に締難にななすりつけて洗びますこ不輸はひ

が潜物にちかに不能を

行わたらす又不臓が充分その

使

純良な

を選べ

土や穀類の粉なごが入つてゐれば をに沈みますから直わかります、 食質の花鹼で洗つたものはあさが きれいに汚垢が落ちていやな臭氣 が残りませんが、悪い花鹼になるさが が残りませんが、悪い花鹼になる

j可(70)作

離したで純物が一ばいに浮き、地でなりますが、別い花識は全部が透明な暗

ップに入れて二時間ほど放置

ち

CI

h

他段は高く

2

◇洗濯煮ご

用ひら

てゐるだけ値段も高い筈です。さ一ですが、これはいづれも混ぜ物を果も多く、又點造にも手がか、つが降形符鹹より完價なのが勢いのたら粉末の方が固形のがよりも燃一ころが實際に原では粉結花鹼のだ

が残りませくまますご場談けがしない上に石鹼の さも純良な不溶物のないで酸と高く さも純良な不溶物のないで酸と高く こも純良な不溶物のないで酸と高く が残り地質をいためます のですが、同じ酸質の花 が残りですが、同じ酸質の花

方 ひ

矢鱈に多く使ふのも無益

不純な石鹼は却つ

て損

てこそ不認無、國難の呼びは若にしたよく刺戦するものでせう、さ こそ職經衰驟に殴つた近代人、こそ職經衰驟に殴つた近代人、

好の変は使さくとくも美しい存在 ステージの聡明の中に浮び出る彼 でありませう、レントゲン線のや ー・ガ

ウュ

の楽はです、コンクリートの壁にの楽はです、コンクリートの壁に ストーゲル関んではどめて健康するな時後があるはし知出な行うにも見えます。そのよこのトンル うにも見えます。そのよこのトンル うにも見えます。そのよこのトンル うにも見えます。そのよこのトンル うにも見えます。そのよこのトン

で徳気等の美しい、エロテックなしい間の真ン中に荒削りの名ばかり がごちやくに同歴してゐます。

サカッパの上に大きな様割れがのよう。 ・ 八蔵ださいふ子後の×ないです。 がおいしいものがはいつてゐさう。 ・ 八蔵ださいふ子後の×ないでや人の ・ 八蔵ださいふ子後のがはいつてゐさう。 ・ 八蔵ださいふ子後の×ないでや人の。 ・ 八蔵ださいふ子後の×ないでや人の。 そぎでおなかかこさへて十二時か お目々が明かないの

へかへるさドロンコにれちまつてれてお風呂へ入つてそしてお部屋 「おけいこですより」と大きな野 れしいわ、でもレヴューが ないわ、その質 なかに生かられていない。

女等の懐らする 歌念の中から 各各各 科科 學 革 高

(ル限=禁押印店但) ブ放最 南ス種流 報 掲行 呈上

小供革

製造直卸(幹約 11, 110

金種人形製造 電 | 2年1年の | 2年1年1日本町100|| 1年間古川水町100||

舞を一出て

跳たりするのさて

御法文の一つ言な相

は野たちの郷屋です「郷歌は八時であます、紅白のたんだら暮の奥」であます、紅白のだんだら暮の奥」であます。紅白のだんだら暮の奥」であまず、紅白のだんだら暮の奥」である。

間だけはおけい

鄙だのへ出かけ

8

がお休けでさ

即露 賣 店 下被度御順申上於後御順中上於

S 於藤 商

製造元

堂食階三の関軍の内安計 の視察園 の視察園 の方々 軍人學生

THE STATE OF THE S 8 いまず日本 には三百五 には三百五 には三百五

0

A UNITED TO

女闘 置話 三 六 六 六 番 **跨**请

食子 寶 堂/遠 店 治 グロイグロヤグトラ 代理店 連大 \Box 本

絍 **羧**毒元 · 毒 **/ 清** · 会 **/ 光** · 云 **/ 光**

價藥 品但店金にした園は質あの

頭痛

i

VAN HEUSEN

一回の御試用は永久の御愛用となる

生地そのものから曲線に織られ折目の部分に曲線を 織り込んだ唯一のワンビースカラーです。… 数十回の洗濯に耐へ型の崩れる支れは絶無です。洋 裝に貨理解ある方ならば一度の御試用によってメン **セウセンが如何に快適經濟で常にアラモードな最後** 8TYLE :-----各型



鹼を粉砕 舞臺で跳ねてる 間だけが樂 舞臺裏には現實の悲哀が

镇气

89

Ę

d

(日曜火) あれば随飛不離よりも容易に水にあるやうですが網絡な粉末不能で 促ぜて量を殖やし 以又粉末不能が度。 ら同じ目がだけ使ふこと ・ し遊かに乾燥してゐる ・ し遊かに乾燥してゐる のがあり

◆又値段の割に形の大きい

载 のでは充分洗濯の効果が 元々石鹼は溶かして

使つて懸い添へるさうです。
使つて懸い添へるさうです。東京、大阪あたりにもほさんご頼のない構巧なものです。でホテルでは今後舞踊會共他にこの彩絃を

枕が狸から、

けさつたのです。

水

信號ハバラットイ

モオニリ

カン

呈進ゲロタカ即別特

んな

三里 狐話は、 き、ふき狸さんのこさがおもした。い、無縁で眠らうさんは、眠くなつて、ころつさな

でこんなに、いい氣料になつてさいけない。いけない。自分一人ひつきました。

旗野 二郎

るばんだよ。れ、君の。さ、ハっと、こんざは、君のいつてく かへてやつであました。

いきました。狸は鬼の水枕をさり狐は、干ざり足で、鬼のお家に 足もさに横になが、ひびいてき ぐ眠つて

いたりがしんさしつから「谷のうた」がら「谷のうた」がら「谷のうた」がら「谷のうた」 呈送綠型麗美

サ

ツナミ ツスヘダタフ スア イカ メレヨセタ

Œ

具玩ムゴ

から

如し

(呈 逃

香二六七七 ④東 藍 電 金五○一五屋占名座口替試

屋 古 名形人產特 百店

ないやうなのがあります。で簡ないやうなのがあります。で簡ないできなのがあります。で簡な

誤魔化し場いためにひざいのにが、粉末花鹼は固形の物より一

るを純粋の不識はい

ント

して最か確やしてゐるため

してゐるためです

テナ 又ミ カハスタノ

4

星グ

貨賣 向露古可 豊富取揃 名古屋市西區本町四 會社 伊藤旗店 電話本哥()国011案 113011案 區東市屋古名 () 五 二六裏北町種千有關 店商井酒) 迄

振替尼古屋一六五〇四番電話東三四五四番

ポツクスゴム底

大寸、六五

運動靴靴



内地土産と御贈答品には 扶

話題

大 連 連

正理至す會か理

宗はも固定ら

婦人の病は婦人の手で

. ¥.

果の Ξ 改月 B 正 ŋ 0 協 四水 百 H ド 定 12 (二罐に付) 金 付 0

八氣焦點北京料理

三二華日 人人 階階用用 六〇——

たって、木の 大連女 よで、ころつき頃で、焼きいひ軽つ たっかりぶれて、蛇きいひ軽つ 人文 "卸進值 呈段 水町局前

學院で

募生

器

と樂

器

0

to

工仕

協入

~11

接

。店

田

田

小当

口名古屋支店 各銀行治、愛 知、名古屋 股ポズ の起布のセル服の

> 大連 坂 本 振替大連二二三1番 電話七〇二〇番 に

> > 産婦

製造內外卸 値段表進呈

合名會社

帽子

其他ゴム製品一式

町種千區東市屋古名

會商ムゴ城金

製 學生帽子 サカモトフクト 生 服

青島精肉

お 様もこれで の名楽が かったが

全滿到る所の著名和洋雜貨店"百貨店及消費組合にあり ヴァンヒウセン会計満洲總代理店大連私書館百二十二號 より使入し家人を配迫の上金五十 を自等続所持の四人組織室が裏口 機悪都青方に六日午前零時十分頃 大日季前零時十分頃

Л

の時機はあらうがこれと同時

首都の經濟實權

名を整理して經費の節紋を誇つて名を整理して經費の節紋を設しては近年盆

結局、外來者に握られる

月

Ξ

鞍山守備隊の

新川巡査に

1

.

₽

傳 神病、睾丸、関節、痔、ロイマチ 婦人病、内腹、喇叭管、卵巣炎、 健康は國家障隆の基本なり 大連市流速町五丁目二百一番 作事、リ 灸門療・院 大連市流速町五丁目二百一番 大連市流速町五丁目二百番 大連市流速町五丁目二百番

•

切勞章下附

査新心已頼氏は

が、鷲日は側に依つて全南谷地の一加茂は如僧かを報道はれてはゐる

模擬戰

記念日當日

電燈廠の淘汰

鳳凰城の煙草栽培

無料で教へて上げます

COO STATE OF THE S

店本號密用哈

病 教育 排兵

のきづかぬ大妙薬を

今年は好調子

改良は漸次にする

東亞煙草さ近山質約成立する

吉岡中將來撫

いましたのみならで職機態動の措置。 の宜しきを得たる其の沈着実敬法。 とたるは亦勢披轄にして真に警察 したるは亦勢披轄にして真に警察 を励識すりましてこの程間東長官

年

七

(小學校、公學堂、農業學堂生 は各部に於て取纏めの上時局後 は各部に於て取纏めの上時局後 は各部に於て開催(出席者 の上時局後 は各部に於て開催(出席者 の上時局後

和

進出し來る邦人各機關

長春

【春天】六日焼焼か期と約千名の 大南港門外南坡部湾に約三十名の 大南港門外南坡部湾に約三十名の 大南港門外南坡部湾に約三十名の 大南港門外南坡部湾に約三十名の

の死性を探す可く戦山脈沙獣に向いた安性を探す可く戦山脈沙獣に関いの疾亡にのの死性を探す可く戦山脈沙獣に同いの死性を探す可く戦山脈沙獣に同いの死性を探す可く戦山脈沙獣に同いの死性を発している。

靈

遺骸捜査に

東京府大森町仲原 東京府大森町仲原

安達氏

0

奉天に接近する

千名の大匪團

全滿の政治經濟の中心ごして

全滿武道大會

像定の行程を踏ん

◆意園八方法来我園に於て市子口寄せ或は私遺の力をできる。 中園八方法来我園にからり得る事がまる手がある。 中間でで、まる一日 として、 中で、まる。 一日 として、 一日 にして、 一日

二十日撫順道場で擧行

れていよく (離職すること、なり ・事出來す一行は時期を待つて予正 ・山の部下さ我に捜査を始めるべく

發展を期待される長春

(四)

【長春】長巻首都決定から在滿期、結局一大都市さして全滿随一の發展を持してあるので離工。 大は勿範内地谷方面からも最近は、展を見る長巻に難し先は那人をした。 を鯉の態度を持してあるので離工。 を鯉の態度を持してあるので離工。 を鯉の態度を持してあるので離工。 を鯉の態度を持してあるので離工。 を開の態度を持してあるので離工。 を開の態度を持してあるので離工。 を見る長巻に難し先は那人をしたが外部から押寄せる資本家 の企業家と乗して野協館のにある。 での変すでからざる千穂一遇。 されたが外部から押寄せる資本家 の企業家と乗して野協出来るかは の企業家と乗して野協出来るかは の企業家とまして大路階(の企業を主要して野協出来るかは の企業を主要して野協出来るかは の企業を主要して野協工を出際されてる の企業を主要して野協工を出際されてる

の邦

六七六人に達す

でオイルに就き炭硫酸局で極々打。 「無順」溶軍燃料廠を吉岡中將は がオイルに就き炭硫酸局で、炭上 がオイルに就き炭硫酸素の等で、炭上

吉林民會長

本留二氏

おち着く

影響ホテルに一海索十九日午後三 時五十分發列車で素天に向ふさ

ある

七年度事業開始に関う退院輸風(安東) 風劇城南滿黄煙組合は昭

思州別三月二日登表の常地領事 地人戸駅百四戸、戦人戸駅三三戸地人野子百七十二名、同じく近 地人野子百十二名、戦人野子五六名、 地人野子百十二名、戦人野子五六名、 戦人好子百十二名、戦人野子五六名、 戦人好子百十二名、戦人野子五六名、 は八十三名、戦事郵便房城十二名 が高い銀路電話交換局二十名、自治 指導部四名、軍職役六百名、合計 六百七十六名の日本人が在住して ある、そしてこれらの人の繁架駅 から、そしてこれらの人の繁架駅 制師一、網補商一、女髮結四、 大工商一、時計商二、英房具 五、雜貨商三、栗子商七、豆腐屋 二、菊嶋屋二、寫真業二、魚屋 五、雜貨商三、米屋五、文房具 商一、大工商一、時計商二、便 商一、大工商一、時計商二、便 新屋四、疊商二、看板業一、電 氣器具的二、質易商一、特產商 、材本商三、自轉屋一、煙突 持餘業一、新聞配達業一、新聞 支局三

全鐵嶺の應接で

三硫政明氏は時扇多端の抗病氏會とび民會長の互遷の際前居常民會長

本社映畵撮影班の活躍

東京化學工業研究指導所の

軟造下疳病

「林銭行票粉稿本能三氏補続さるに任するな許さどる販館こは次監者にりと古の大人様するに至ったのは、 はいのは、 はいのは

農家

壽堂醫院 電8599號

とおりになったのとも野低するに致ったので

鍾毓氏來吉

奉撫線平穏ごなる

今度は撫順市中が不安

殿忠部隊の

來援で

蔵場二、洗濯屋三、湯屋一、薬「管に膨揺し驚分徹在のひ定である 商二、兩署業三、運送業三、遊 衛屋八、新聞一、質屋二、古物 列車にてハルビンより來吉し熙長 経域大の様である 『言林』前外交部駐哈特派最継統

日支協力して徹底的に討伐 匪賊團

の見當にて二百數十國を就金する開號就選迎さして一戶職り三國位

滿洲號の献金

鳳凰城に料

| 上長村の大幅音== | 長村の大幅音== | 上長村の大幅音== | 上長古の大幅音== | 上長田子の東が出来 | 全地法は誰でも實行容易で | とて になりに離かする事が出来

こきに決した

新國家の設立等に野人家族の設立等に地域の東風警察隊の設立等に地域の製造と地

男

建國祝賀を前に蠢動

四散した匪賊ら

沿線

往來

印刷般

社

話

四三〇卷

電話四〇四八番

金州の建國祝賀 十一日、日支共同で施行

=

= 財務になる人と変が同僚七時日 に放うては内外総は動かに各本人側に放うては内外総は動の下に加世田氏會 長さなり戦命州のの影集を売め總量の容集。 で総験配を振り日支人権機へて設 を表して、を会十一日午後正一時よ を表して、を会十一日午後正一時よ を表して、を会十一日午後正一時よ を表して、を会十一日午後正一時よ

+

九 百

F 九 第 きさして王殿忠磐下の八百五 参加者六千人に達する 行する 言語性を開始す

(日曜火)

子附近に移動したさいふ

部下百五十名

天地容歸順す

「選購」 遠陽縣第十届(城北海等) 電大師・電話とて居る町目天地客は 意大師・理話をされ部下の内百五十 なな同地中智藤堂さなり他は良氏 さなつて解説、銃器、馬匹共の他 は五日郷室に於て駅公安院員に引

組强盗

報

大東溝の

妻全我氏はこの際節医・解析とない。 大の衝動な興へたが安東警務局長 下が地方人心に多 子

吉會線が完成しても

大連港には影響薄

出て著等相當ある

事を理場に急行せらめ犯人概探中一元を強等憲定とた午前十時急報が正さた午前十時急報が 大會 全鞍山卓球

社
製物取締役闘田
ポ太郎氏
ル
満州
たがその他
新規事業計畫のため同
総
繋の塔配
ル
決行するここ
よつ

大阪商船岡田專務談= 方面より或は乗り べく見られてゐ

中風

入院の應需

門専ギツネホ

三九通西連大 掛五七五八電

本物 総前進!!。
さくら祭羽二重帶側(婦女界推奨)セールさくら祭羽二重帶側(婦女界推奨)セールをより六號まで、日毛製造生男女用服一號より六號まで、日毛製造生の大質、春向き中コート

製サージ・水大

近江

吳服店

整田前





順 數 翼 厶 話 Ξ Ο 五

御婚禮其他歡送迎御宴會上は是非繁富

外の服洋紗羅

た寄立御度一たしまめ始た いさ下較比例な設値を物品 町業育市順旅 商野 吉

食堂満

敦賀町

サービス…是非一度…… 日支 英 料 理 さ 献 身的

ラヂウム温灸器

井上醫院

生殖器障碍

尿器病

玉橋保建治療院市西公園町百五十三番地縣 滿洲總事寶元

朗か な家庭的ホール 店服吳やすびゑ

◆新入學生服 小學生男女服 別服 編 編 ルイタス 監査 せいほと 春物新着 湾色訪問服、湾色銘 三重帶側(主婦の友も 一流セール(デカド、) 三重の方も 空

カフエース 四ハシノ

月見農園賣店 振替大連二七四一番 富士町

外地の 生みたて 動 生みたて 動

旅 順 商 店

花 大達近江即西広場角 電3910

筑後屋町店 1679

受驗生必携

でするんだりイライ

揮ついて買力を売分に被 と乗快になり振ら落ち できます

賦提供卸中込次第型錄進室

紫外線獲得時代

三河町が瀬戸池内 院長伊藤義廣電六四七三須町停削大連四愛家畜病 電八六七五番

東国三〇一五・八六八八番 単端 エバレデー 電燈 無器及スタンド 類 が 洋 行

悪性感冒流行 四ツ目印 にんにく葡萄酒を 常に召せ漢肩撃滅、健胃整臓、 等人病に効果偉大 大連市山縣通 電話五八四九番 電話五八四九番

大型スタンド球付 用球付

十二圓ヨリ各種

二十圓ヨリ

(六連費

京都五條室町東山崎長商店 雜 增田貨物自動車運送部 電話七三七〇番

7 姓産 産室が御利用下さい。 常木 大連牛乳株式會社電四五三七番 電五二九三番 引越荷造

琴古流 **貸家** 株源臺六六番平家八十二 大田 電二一九○ 奉天藤|| 東町 | 五

「ちや僕失敬するよ。ごう

、めて覧つて、亮をすかせて乗り込むがあれば。

大警戒に獲物

十個の増加で統六割の増取だられたしても本年初頭より有事に入つてしても本年初頭より有事に行れたしても本年初頭より有事に入ってしても本年初頭より有事に入って

顔を見合せ、微

笑した。笑した。おがか地でのれらいがいま

廟行鎭三勇士

和服 裁擬住込見智募集本人來 教育 (午前・午後・夜間) イビスト 養成 (午前・午後・夜間) イビスト 養成 (午前・午後・夜間)

六紀ノJ國宝質店積 大 ・ 大他御相談:

强力治淋新樂

室

內

C

自由に

光浴

出

來る

電話回0九0•支店奉天長春安東一鞍山

查

B

夜で

第

和格諾 實

下宿 漢連町二丁目裏通 日露洋 大八五五 一〇七 紅葉館電六三九七地良宿所格安應相談四公閑靜眺望佳室內改裝住心

引起 付物 荷造 後送迅速通關手續 を送迅速通關手續 とまずから御用命を願ひます 東門の技術者を何は 古市運送店

大連市二葉町

電話九七五五番 器

繋井試錐工事應需 to 信 **電話六五四四番** 用 電無は 刮 鏰 用



タイヤが他にあるだらうか用ひてダンロツブ新型 THE CASE OF THE PARTY OF THE PA 强無 洋 ■話 5 1 6 8 番

る機様より或ひは他の軍隊も入る機が小数の軍隊ではご慌まれて居るが目下の處分が式は続めて限るが目下の處

の感況を呈するならんさ 所に於て修養講話を行い多大の感動をあたへた▲長春列車區長に紫 動をあたへた▲長春列車區長に紫

の行事 陸軍記念日

嫌よう」さも云へないのか。

れ伏して、お禮を云つても、足りこの嫁しさは、天地の職様に、ひ

ヤズの音響を利用

女中 入用廿歲前後 若狹町一五五電三〇三 女中 数名入用 数名入用 中 數名人用 大工 食堂

三八 岩切

算盤の御用は

紙は此印に開

女中 十四歳より十八歳までの 東郷町二七 食堂樂一ノ谷

大運市西通三五番 東川 水川 高橋

寫眞

商品

ひよつくり、変を聴け

あんなにも、待つて居た彼が、

話がかうなるさ、第一は、喜美

白帆に出印に降

塵紙

の來鐵阿南侍從武官 をという。 を経験のなくであった處最級ではない。 を経験のなくであった處最級ではない。 を経験のなくであった處最級ではない。 を経験のなくであった。 を経験のなくであった。 を経験のなくであった。 を経験のなくであった。 を経験のなくであった。 を経験のなくであった。 を経験のなくであった。 を経験のなどで、 を経験のなどで、 をできないで、 をはない。 を経験のなどで、 を表現して正午から、 はない。 というない。 といるない。 といるない。

祝賀會

一日に建國

出金と云ふ事で進行して居る滿鰻では飛機端刑號の義金鄭集中 豫定額を突破

イワキ町 新高質

不用

下宿

世話したと家庭的

電四九一六番貨物自動車

造販賣 吉川商店

引越荷物運搬

古着其他御不明

金

武に入城したるが二三日中に法然河駐屯の湯玉殿単は去る四日 村夫人の如き館志養金あるさは表で配中であって居ない

官來公

阿南侍從武

祝賀 記念日

本学するであらうさ 大学 であらうさ 大学 であらうさ 大学 であらうさ 大学 であらうさ 大学 であらうさ 大学 であった でありまり ない この であり ない この であり ない この であり ない この でんり 田 所能 で により 将兵 を行い 田 所能 で により 将兵 を け を は 全市 及び 會場 共 他 にイルミ を 行い 田 所能 で 司 会 により 将兵 を

口は各戸に國旗及び泰祝燈を捌 日を期し大祝賀會を左記 神響を設めたを繋し銀織駐屯軍将兵 見は五日午前十時二十八分都列車に 見は五日午前十時二十八分都列車に とは五日午前十時二十八分都列車に は五日午前十時二十八分都列車に

察一は題かない調にいかなかついません?」

連鎖街東亞煙草前一喫茶ナツメ連鎖街東亞煙草前一喫茶ナツメ 日陰町 さかひ 貸衣 裳 日陸町

印印金塵紙洋

C家事一切病人附施) 電話カニ六六番車線街一丁目三四六

店裏小路 萬壽屋質店

質

通勤家政婦 病人附為一日 一圓也 解人所為一日 一圓也 所人所為一日 一圓也

YOT

0

回 三 0

T

電三一七一番

邦文 甲 高 應 器

の御用命は

支那服の準備有日本橋際大連寫眞館畫夜撮影男女

一圓

にんしんあんま にかり集他機構手足の痛む御方様 は御来業ですい。 大連美濃町二五電六六八番 大連美濃町二五電六六八番

ミッワ附添婦會 派遣

仕 奉

室御御御二人名人名

御一報次第巻上致します

東海 寮 電三六六三番 東海 寮 電三六六三番 東海 寮 電三六六三番 病家臺 人事所 付一次 切事 予門の結は

大連市供給 佐井田洋行 電話四五五二番

岡部紹介所

木鷹・鳥 版本連帯第二番地祭りせん二大連市祭町二番地祭りせん二大連市祭町・町 大 気 堂 大 気 堂

ア政婦(通過派遣)

モミ 療治お望みの方は 市二葉町六〇 鈴木丈太郎 小鳥前各種販賣 (層三四五一番C 水(大) あり 大連市両頭リ六十三 大連市両頭リ六十三 大連市両頭リ六十三

充實に備られ い は に 備られ

貧室 電話六十

衆者は三

譲店

本語の三月十日の陸軍記念日は電吉 悪音ぶんぽつたが、正本語の「大学」というという。 はり居留民會様の運動場にがて駐 民の繋撃であった子供を事際の駆逐の下に會員の機能戦 及びラグビー場スタンを繋行し終了後駐屯軍隊さ在郷軍 事業を行ふこさに決し人分會さにて分弾式を行ふ客にて 主事郷後一郎氏は今回、父尾大尉は敦化縣の叛況の講談を たので在橋舎長より理をである、因に古林に於て軍隊の なった

□ 東郷は楽部が安楽での「大田・東郷は楽部が安楽では六日・神順報等」が安楽では六日・神順報等

野のやうだ――彼女は、見かになり、 を要美の眼には、脳つて彼の低により、 ではい謎をふくんで居る。 ではい謎をふくんで居る。

「知つてるやうな、知つてないやった。

十時より繋公署に於て委員會を限の域験自治委員會にては五日午前

新國家祝賀

の反抗(169)

B

す

城

戦の模擬戦

吉

新規事業

が、特一行は同日籐安の豫点でありて大東湾が館陣城城況観察のためて

事物を打ち開け軍部の力により主の後便の使りしないので要好は今

大ので電分割除吉村信長は非常に同 調きな取った處四日主人より通信 があり金子を送って來たこ六日割

8

案内

整骨

后濃町市場正門前(木村屋際)

院

高山署長の客附

要る番犬、警察犬、選 大連市大江川四番地 大連市大江川四番地 大連市大江川四番地 西通九三滿電クラブ前 懸切に手ほごき致ます

特製豆入大福餅特價販賣 治

食道 樂 皆



क 小寺藥 局

0 国の御愛願に報ゆる為めの大奉仕室料二割引 粧品は 0 6 0 E 但馬町西廣場上 大岛外

電話六六〇六番



全

國室內裝飾店、

店、家具

1=

V

2

格

好

で

社會式株ムーユリノリ洋東

ルピロ山目丁二町下區東市阪大 所業警 番○一九三・○六〇二局 \$話電 町丹 伊 郡邊川縣庫兵 場 工 番九六•一丹伊 話 電

ルビロ山目丁四座銀市京東 所張出 番四六五二橋京 話 電

接

衣

問合せの

上

御用

下

5

其 他 應 接 御家庭 所 0 支 關 浴 應

呈進料無錄型

理 想 的

目課業營

ユ 自 轉 車 用 燈火用 河車用自動車用オート軍用各種ユアル 信用燈火用 ラ サ ŀ 手 バイ用各種ユアサ蓄電池 オ 蓄電池・ユアサ乾電池 用各種ユアサ蓄電池 用各種ユアサ乾電池 用ユアサランプ

南滿洲鐵道株式會社 關 東 廳 廳 墓 道 省 指 定

I.

場

简本金太百 萬圓

府阪大 場工及社本

員張出連大社會式株造製池電蓄淺湯 社會式株產物井三 通縣山市連大 內掛槭機店支連大

b

滋養

形浅明船

常備あり

家庭には 團樂の 淺田飴の

價 定 二一 圓

本舖 門大東司阪京 堀

13

內 伊 太 郎

その昔の 変しき人の肌の香が 母の乳房の味ひ やさしくも美し 今宵静けき灯の下に



乳菓

式 株 菓 製

固形淺田飴は旅行、遠足、集會

観劇、聲樂家なざ人混中に

射撃趣味や涵養

有事の際大に活躍

滿鐵運動會の射擊部を復活

場けの途中衝突頭部に頭像を蒙って吉林順と突睨を縦げてゐる丁って吉林順と突睨を縦げてゐる丁 超近く來哈

が脱炎ながない。 のの状態が対象は、一般におけるなど、 ので小鏡、突然、微鏡の三斑に属 が形だいに脚符されて居る、障略 であるが入いに脚符されて居る、障略 であるが入いに脚符されて居る、障略 であるが入いに脚符されて居る、障略 であるが入いに脚符されて居る、障略

來る廿日發會式學行

ー射撃之部 五月より施行ー、六月二十日、八月十四日、十月二十日、六月二十日、十月二十日、六月二十日、十月二十日、十月二十日、六月二十日、十月十四日、十月二十日、六月二十日、六月二十日、六月二十日、六月 満洲は五月十五日

■ 在滿遊離戲人の原出地障灘につい | 共に同中央執行委員長江口漁(m²) | 中 方の治安充分ならず為め 安東朝鮮人會處置に惱む

窓響の覧職あり一時四十分除症し 公気七川清野、緒が融幅士の設置

高砂丸沈沒

乘組員救助さ

3

地京可要はかいすつ看著高よ な染ま数特値下かてるりにい らさすしに要さら染身ま説柄 セ白 て部のい何めにすつが モ生 広動品・安まな、て智

故濱口氏狙擊

事件公判

東に三月一日からは継歌にこの上 を魅え安東に辿りついた長巻、表 道に勝瀬せしめたが、疲れ果てた 道に勝瀬せしめたが、疲れ果てた を聴え安東に辿りついた長巻、表 が分子、空獣を脱ん丸十二名も止む に無の歌な有機に會長金虎競氏は というでは、変形、変形の姿を を表します。ないまで、変形を なくというでは、変形でのない。 を表しまする。 では事がよりの を表しまする。 を表しまままな。 を表しまする。 をまる。 を表しまする。 を表しまる。 を表しまる。 を表しまる。 を表しまる。 を表しまる。 を表しまる。 を表しまる。 を表しまる。 を表しる。 を表しる。 を表しる。 を表しる。 を表しる。 を表しる。 を表しる。 をまる。 を表しる。 を表しる。 を表しる。 をまる。 をなる。 をな。 採用試験

| 「大田 | 一大田 | 一大

受験者三百五十名に上る

地ででいまく事態を調べて見るさ で……よく事態を調べて見るさ で……よく事態を調べて見るさ

伊

大連帰頭で二人が歩いてゐるプ

小學 卒業が七割

警察官募集試驗成績

では、ことが生場で、第三の男を作り今は米底の人となってある。 とことが実明、虹の純まらののは、また呼さ入院料四百個を擦ばされた。ことが実明、虹の純まらののはれた。 した呼さ入院料四百個を擦ばされた。ことが実明、虹の純まらののは、 が手間が影解にいる(一般館を が上げる。

日出團

數發費

二三金月十十百

五日拾

二月號發禁

フロ文學

虎鼓氏も語ってるた『安

東軍に傳達式を得ふ豫定である『奉天電話』 ふ奉天到着 二時四十五分京城上空に雄姿を現 直に關東軍に傳達式 第五兩機

腺定である 腺定である 五十五分、第五號機は二時五十八 東支線守備兵

日蓮宗を

屋城七日巻 | 今朝殿島を養した

午後逮捕收容さる 東京七日登 順男暗殺の無報される一人古い機能を出て解するとは、大正十三年前職が要校の代用教徒に変職中したもので其体験中日運ぶた信仰。 したもので其体験中日運ぶた信仰。 したもので其体験中日運ぶた信仰。 したもので其体験中日運ぶた信仰。 したもので其体験中日運ぶた信仰。 したもので其体験中日運ぶた信仰。 古内の素性

チャップリンいより

ナボリ出帆の諏訪丸に薬船

し一組五人で参加組数には制

明治神宮大會規則

遂ひに潰走

わが守備兵一名頁傷

Ξ 月

|諸伐脈はこれな追撃し張山城東北 | 打電して來た|
「大野山城を襲った賊脈はわが軍警の | たが既に驚も大陸治療出來たので

満洲浪人の

天津へ逃ぐ

萬國賓も遂に

布教師

配つた『寫真はチャップリン』 出戦日本戦艦諏訪丸で出簽日本 「ナボリ六日数」喜劇エチャー 全滿鐵社員 卓球人

関

京城大會を職艦すること、なつの規定の下に優勝原事覇全演観社
の規定の下に優勝原事覇全演観社 **満鍋大連社員倶樂部では來る十** 來る十二日開催 八會

の病態について左り曜 まった 1 要点に絡まる容極の風間の裡に目動造に絡まる容極の風間の裡に目動造に絡まる容極の風間の裡に目

と婉養中の處最近帳に快方に向き 八日夜駒込の自駆で朧鈴曲で卒餓 快方に 向ふ

原住地へ歸らぬ

本椿香油! そと黒く長くつやを出し 本舗 大阪 三宅堂

戦出作業中である 家其他華族方御常用之

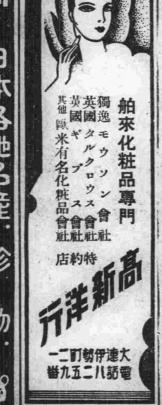
避難鮮人が多數

女の名を假にA子さして置く。

A子は非常に多様であった、飯 年前から甲さいふ残ご大婦同然 の髪があり乍ら三、四ケ月から の髪があり乍ら三、四ケ月から

の 演機 は 花鉄 る 限 に 丸 金 (屋 野 表 伊 定) 地番 七 目 丁 - 張 中 地番 七 目 丁 - 張 中 市 連 は 以 市 市 海 付 は り 活 か 記 金 (蔵 圏 村 西 生 去)







の答日程は追って要表 がと射場に富分の内大連市民妹 がと射場に富分の内大連市民妹 がと射場に富分の内大連市民妹 を表 犯人が暴れ出し

『個島特電七日襲』三日午前九時 に儷へ附けの機銃及び拳銃三十接 「解蛇人」の繋行、膨走事性があ 一般を除着し、で、 を下で、 を下でが を下で、 をで、 をで、 をで、 をで、 をで、 をで 巡査五名を傷く 間島黑頂子分署にて へ渠

◆申込方法 A組は三十億四時 ・ は野會議 三月十二日午後四時 ・ は野會議 三月十二日午後四時 ・ は野會議 三月十二日午後四時 ・ は野會議 三月十二日午後四時 ・ は野舎議 三月十二日午後四時 ・ は野舎議 三月十二日午後四時 ・ は野舎議 三月十二日午後四時 の低減な左の城く役の艦門のサース連流艦所有艦大連丸(三七四八大連流艦所有艦大連丸(三七四八大連流艦が有出れてるが同時を終するが同時を終するが同時を終するが同時を終するが同時を表する。

会事は一、二等に 会事は一、二等に 会事は一、二等に 一二二回 は洋食三等は一五 洋食三等は和 三二八個 三八個 三八個 第は六十三萬國歌上されてゐる が今回越くさも三、四百名は採用

大将の死んだ狭心症の一種であってゐる、漸次良くならうが臨時議會には到底出席出來まい、時議會には到底出席出來まい、 士談 穗波炭坑 爆發椿事

幣原前外相症狀

動脈硬化症に似たもの

主治醫武井博

大編業所第七城にて全朝七時爆發大編業所第七城にて全朝七時爆發、監察市外都澳村出 金牌受領

時より同語堂で第十七川卒を静明高等女學校では十六日午前神明高女卒業式

吉岡彌生(紫鹭) 〇字 獅

で第十七回卒業式を 年 申 込期日 末日迄日より

園兒募集時

西廣場幼稚園

つた三角態要ナ

補三歳より七歳迄

際文人 家空中スケッチ 三月八、九兩日 (午前九時より五時まで) 氏筆

展

御下賜

團男に祭粢料

滿日講堂に於て 金十錢をいたゞ B

航空輸送會

東京七日餐 とき速りでは故事 でも現在前の水を設合され祭楽料 でも現在前の水を設合され祭楽料 でも現在前の水を設合され祭楽料 でも現在前の水を設合され祭楽料

一直には 一直を 一直を 一直を 一直を 一直を に対する に対す に対す に対する 二百圓寄贈

會を開いて滿場一致「滿洲號」

建國紀と清鎌 滿洲國建

貨車の衝突六日午前

麒大 日

麥

酒

、清凉飲料水大中、鰻各種四打二付、同・小瓶四打二付金五拾錢値上ゲー・製造のでは、 金五拾錢値上ゲ

先は右御通知迄得貴意申候の通り値上数と二月十二日より實行可仕候間御承知被下度候の通り値上致と二月十二日より實行可仕候間御承知被下度候陳者最近諸原料材料騰貴の爲め麥酒並に清凉飲料水值段左記拜啓・毎々格別の御引立た豪り拳湖上候 左

浪 殿正なる抽籤を行び右當殿候に 七九番行

第六九號 甲乙丙種共各組共通 大連鴻速町

第十一回購買會第四次常籤廣告

冷寿神胃動皮郷 *え 經臨腰膚人 精浴 *金症疾痛病化病病 大田地域・江にはドイツミンを が開せせして が開せせして が用った。ボナット・ペイフ ーケ年用 国 祖 外に 内 服 用

(五〇度) 総ての温布には 第一等 等 B 版 会 会 会 社 会 声 市 名 古 皇 市 名 古 皇 市

東京女子醫學轉學校 本麥酒株式會 うらろ 8 愈 會 界各國 本名 社 社 間丸圓 東京風菓子謹製 地名産 毛 ほ ◎酒命養◎ 大連大山通 兒 酒 類 廉 醫學博士 崇 入院室閑靜 澁谷創榮 賣 敬限 大連市信濃町市場 据替大連一七五八 00 店 七五二五 前校學小日春町園公西 18 町伊紀市連大 (7隆)笛五六五六話電 展育東原元九四四四番 朝日 宝 ・ と勝り二百組収り金一円で送る ・ と勝り二百組収り金一円で送る ・ と勝り二百組収り金一円で送る ・ というな本一冊 (当年) ・ というな本一冊 (1年) ・ というなか、一円で送る ・ にいうなか、一円で送る ・ にいうなが、一円で送る ・ にいうなが、一円で送る

後か追

にごまで怖ろしい人ださは……」 まりは想じい總器によろめいて、 さう呼ぶやうに云ひながら、お

一二三四五六七八九十二三三五三

先 城 四郎氏

一たえ子さんが天安の面に保装してあるのを知つてゐましたので一てあるのを知つてゐましたのでー りは後からついて來て、りは後からついて來て、 して、荒れし

たい一さすがもありはしないわしなの。お前の未来には生きる道は、自分の死をはかつては何うなの。お前の未来には生きる道は

連 JQAK

(N)

人で傲然さペンチの前に突つ立

が、戦くしてやうく、対象を取りかへして言葉をついた。
「そのこさで、穏、今夜、お戦機に申上げたいさ思つて、地下至へ

が、難くしてやうく元績を取り

野想多書

(219)

返柳

壇

•

> 御家庭用には小罐が 入れるのが

物を召上つて美味い 美味くするには之を 同成分です、だから と思ふ味は味の素と

凡ゆる料理に





宮內省御用灘 味の素本舗 台所に具へて御愛用あれ

も手頃です、ぜひ一罐は

徳用で使ひ頃です、

值"段》

















太平洋に乗り出した米全艦隊

3の聴容が数か響で、本田軍印金館は多分九日午後一時歌長するものさ見らる『長春電新』・「独補別屋に移駐した陽児軍司会部の集養隊はすでに強着しつとあるが、七日から八日にかけて大部

本庄軍司令官は多分九日赴長

映まで支那郷に代り之を代行する にが針を決定したが、支那側が之 を飛ばせず臭爨城は職北は支那の を飛ばせず臭爨城は職北は支那の でであるから工部

損害解決

郭泰棋の意見

戦意を喪ふ

の質問に答へ曰く

れてゐるが、その決定と總會に出すてなった、常低委託合の役員解解れば且下議長

蔣光州の名で麾下全體將士に興へ

我に何等決定的結論に到達して

| 南翔の支那人

閘北警察權代行口

支那側反對を表明

無にするなら勝手にもろさいつて

はるな國民に自由せるもので觀る「「「」」ととは第十九路軍に全く戦念映芝

工部局を憤慨さす

國際裁判で

日支問題は 委員會に附

聯盟總會は する

はツャシイフ

支那軍の

記金に寒戦しなるな歌歌して解う 昨日歌わが最前線を視察し我軍が では、大海大日参 名属陸軍武官連は たが、日支極軍の交戦につき左の完全に係戦しなるな確認して触つ

は既職の通りたが支那師の情報に多大の描書か乗へ大勝た慄せる。

東亞

の謎回

自由埃內服藥

國

史

鳳

東の急襲により後駆して逃げた、 東の急襲により後駆して逃げた、 東の急襲により後駆して逃げた、 東の急襲により後駆して逃げた、 へて驚時の模様を聞けば語れ、季累宅の家人 配合療の成績は甚だ良好で、五日
配合療の成績は甚だ良好で、五日 前午後二回それで 病者に禁し治療を行び、又毎日十名六日十五名計二十五名の普

選和男氏は七日韓八時養殖車で來源鐵古長古就嚴路局派遣真技師田

が直に観道部を訪びる田、

酸に興味を持つたのであった。

吉長吉敦現狀報告

部屋た出たり還入つた

(地間つて一瞥ざんなものなのだ

出來でゐる、自分の部屋へ遭入つ庭を一つへだてた、別概の甦憾に

作力力臭いなる」

云ヤア・

特殊應用涼經劑

此處へ儲つて來るさ、

維に朱仁煕が、白動車

際海の整理なしてゐたのさし

さんの秘書だか

を翻める

園公訪問 犬養首相は

「里中の地域及び南は蘇州河以南 せず現位置を確保するに決定した「里中の地域及び南は蘇州河以南 せず現位置を確保するに決定した「東南郎大山登」第○陳前線部隊は「事を確めたので、支那軍が反撃し

江西の共匪猖獗

政府軍三ケ師を派遣

當

のため本日第三脚(www.指揮)第 のため本日第三脚(www.指揮)第 に至ったが、國民政府は之が教授 に至ったが、國民政府は之が教授

、海域委員會設置、
市政京と名づけ陪都となす
、 大教をなす事
、 國府軍事委員會設置
、 連城委員會設置

歐米各國の日支事件に對する態度家と帝國政府の態度及び國際職監

州並に上海事性の經過、滿家新國九月十八日滿洲事變數生以來の滿

陸の都を西安さするものである

開京が水の都なるに野地法修正、其他

総選級結果及び臨時議會を召集す つき詳細報告をなし西賦学公の説 がかまめた

込が無くなり、四民政府は

キロ外に撤退を除職

洛陽に設

東鐵露人從業員

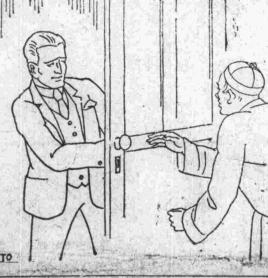
11

共産黨員で固む

労農の對滿政策變





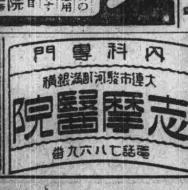




















大連特約店 信濃町 蘇井 藥房

の目的を達する確

海貫病院に御成

倒張學良

に、職職職者を聞一行を指答して、 イヨ午後八時より職売獲売の公使 「東京七日發」江中國代理公使は

英支共同

委員會

調査委員が招待 代理公使

東派が頻りに策動

門復を以

戰略拙劣 各國武官の批評

繋ぎ載さなった

大角海相けふ

調査委員ご會見

時償金使途の 第一十三日曜日に取り上海で 京六日登」際呼暖飲金使途に 京六日登」際呼暖飲金使途に

観吟書記官等であった

わが空襲に

前十時支那調査委員長リットン頭一會合するに決定した『東京七日教』大角常様は七日午一一日、二十三日剛日

狼狽した蔣

と工部展響祭さて共同整理をなけた影響をしたので本六日は軍

かきも切らず其の為め昨

人はおだ不安を想して你認を引出一蹴車で削弱に帰つたこの事であ人籤々住宅に引返して居るが支那一てあたが我空襲にあび周歌級駅上海六日餐】物四眼路一際は翔一の重要會議で杭州に召集さんと 邦人續々 歸宅

間北巡回治療 成績良好

追加豫算として計上

始めさして中央銀行な洛陽に設置

即さ一緒に開けたり閉ちたりしてそれがダラリと連れてゐるのない

「朱仁願さん、下にゐるかい」で市太郎は云つたものゝ、何

何の故の

、粒塊さしたカー

降事件費

の内側に撃花の刺繍をした、ひご そんなやうに思つて吉五郎は、扉 そんなやうに思つて吉五郎は、扉

さ吉五郎は云つた。

取りつ取られつ(五)

つたので、婦女誘拐などには役立た。美院で繋が称いてゐて鰕遊だ

勿論良効あり。安全にして効果的、本安全にして効果的、本

る。一般咳嗽にも本病の豫防と治

藤順三

我軍、現地位を確保

老公上京の挨拶を述べた後、昨年 前九時ಳ大戦医秘書館を供い戦田 「東京七日爱」大戦首様は七十年

支那軍反撃し來ぬ限り

支那中央 **辭令** [東京七日

総るに蘇釈鮮光郎の名で、暦を 15

を たいつを何うさもして養見し、こつちの手中へ入れたなら、ざんなに痛慢だらうかさ考へた。 微は別様の聴物の方へ行つた。

兩少尉戰死

通鉄館か受け戦死した旨六日登出鉄館・同じくが地友信楽師は

人民委員會は紫湖政策の解新な職

顯稅改正法案

間北の警察

動側器せず、捕象節

關東軍司令部移駐

今明中に全部完了

できうだらうな、皆然のこさ

五郎は母屋の方へ行かうこ に、ひつかき題はして来たんいや。総下館の家をちょつさいか。

てこの部屋をちょつ

さ、内側から観穴へ、鍵を差し 「朱仁誠さんに叱られら

「おめえのごく周章て、ゐるがや」

藥學博士 高攜順太郎先生 協力創製 0







新

首

都

景氣忙しい提灯屋

匪賊襲擊

列車の襲はれ乘客一名負傷

南く 判明し來る

關係

血盟五人男を捜査中

大なない 大なない 大なない 大なない 大なない 大変のの ではじめれる ではじめれる。 ではじめれる。 ではじめれる。 ではじめれる。 ではじめれる。 ではじめれる。 ではない。 ではな。 では、 ではない。 ではない。 ではな。 では、 ではない。 では、 ではな。 ではな。 では、 ではな。

南京虫、

0

戲吾平椿油

かざや油舗

團男暗殺事件取調べ

育宝して來た、陳會長は直にわが一有の銃器約三百を受取り保管した要し、拒絶する場合は整殺するさ にする一が兵を市中に振し谷戸所要し、拒絶する場合は整殺するさ にする一が兵を市中に振し谷戸所要し、把後軍は警戒を駐車に戦めを駐車

一概ないも時に影がした在常民の燃「新一千般名に遊し感大を極めた

正確な報道感謝

三月八日出帆長城丸守る路

商船株式會社大連

支店

張景惠氏が新聞記者願招待

日

空中爆撃で

は、大田本前六時五分城釜山行腔秀第 外車は機関車から列車に六、七十 職して来た、わが軍では治安が維 おけては、大田本前六時五分城釜山被五龍背間を 登の殲滅を受け乗客の戦人一名は 持され同胞の保護が完全されれば 近郎 大田本 の 一般 から 電力器 さい 一般 では、「一般 では、一般 では、「一般 して来た、「一般 では、「一般 して来た、「一般 して来た、「一般 しま では、「一般 して来た、「一般 して来た、「一般 して来た、「一般 して来た、「一般 して来た、「一般 して来た、「一般 しま いまり には 一般 しま では、「一般 して来た、「一般 しまない こと ない こと こと ない こと 兵匪を掃蕩する 飛行場を開設

東京七日愛」今七日は順宮 であるが時局に御開心遊び にであるが時局に御開心遊び にれる起き麻隆下の思語から

下に講を賜ひ御殿訓を記上しの飯近素仕者が殿陛下並に殷

長は左の姫く宮内徴から登表。

武官長、滝井皇后宮大夫以下 編をあつめさせられてゐる 大京向きの御鑑しなく午前十時 御養育既に先月末から乳人に き表向きの御鑑しなく午前十時 御養育既に先月末から乳人に さ長配であるが時局に御購心遊ば た、殿下にはこの冬中も御盛 内

を 利息 八、六四五グラム 御島 八、六四五グラム

吉林から警備團增援

要人の身邊を嚴戒

新首都いより

旗行列參加者

業授間夜

慢性痼疾な

胃腸病が

貺

寗古塔の天野○團・

塔に於る天野○職は市民から空前「表は永~息軍の駐屯せん」ことか職「『海古塔神蔵特派員七日養』當地『海古塔神蔵特派員七日養』第古「の歓迎な受け遊」と駆める代 刊「成力」を一不す 『海林神蔵特派員七日登』 常地に おける飛行場は六日から作業に着 手も七日完成らたこれと同時に得 より作業に養手することさなり 我威力を示す

大乗客一名負傷し炭東線と同時に満線緊隊に戦将手機中【安東電話】 「人乗客一名負傷し炭東線と同時に満線緊隊に戦略を影響を受けた、暴天致安東七時着兩行列車は湯山城風風城間で賊の襲撃を受けた、暴天致安東七時着兩行列車は湯山城風風域間で賊の襲撃を受けた。 「の賊国があり、無線に機と安東線影響では過減撃部以下午前六時四十五分多数徐鴻車で救いる山路とは流線を地に敷設を命するさ共に盗撃隊を滅山城に集結せらめ自ら一隊を撃るて同じの協所で自下(十時二十五分)交戦中、なに東北方の山上に肉眼で見える約六百町の協所で自主に流線をある。 「人乗客一名負傷し炭東線と同時に満線緊隊に戦略手機中【安東電話】 各地から救援隊急行 三十分頃またく一道襲し来り、職より終十 不明の緊藻大二Cン及び変溶の師 を勝黙暗殺事性に腱称ある事を養 を勝黙暗殺事性に腱称ある事を養

を取調を行ってるる を取調を行ってるる を取調を行ってるる を取調を行ってるる を取調を行ってるる を取調を行ってるる

川崎長光召喚

対域数、緒方大佐戦に指揮官権

で 本機記者よりの謝齢 日本機記者よりの謝齢

八畜無害の

らみ撃滅は

イマツ蠅取粉に限る

呼吸 器病一切痰咳、小兒百日咳

本舗 今津化學研究所

來突城縣湊醫祭署に捜査本部を置

水連の建國祝賀式

市民參加

決つた十一日のプ

口

金巾サル

お

1.

遊話九六四六番 局

太

米聖市若狭町 命は 米 の は

學洋行

藝妓の捜査願

血族取り調べ

武器引渡を 强要脅迫

列車から機關銃で

警乘員五名が應戦

車體に彈痕が六、七十發

商務總會に

の他を取調中の他を取調中

解などが市役所にて其際的に協動 が係、窓會係、除験係、市中裝飾 ではずすール大連市民の殿質式は十 一日午前般製總物係、式場保。行

市内平和館六七番地料地店敷島を は六日午後七時ごろ鑑好町の館別 は六日午後七時ごろ鑑好町の館別 が表に市内に懲伏して居ることが明 したので機造森田覧太郎氏より七 したので機造森田覧太郎氏より七

(呈送グロタカ)

頭痛にノーシンの

んそく治療

京を開発を見いま

賀氣分で埋めるで

御健やかに御發育の

順宮様初の御誕辰

けム側近者賜謁お祝

スポーツ服装問屋

鹽鰛皮乾

海産物新荷着

乾

さおちりめるん

いたが、足足ざ

0二 0九 番番行

手提金庫盜難

市内震速町一丁昌濱恒ビル三階十市内震速町一丁昌濱恒ビル三階十小程を送って際下に降りた値かの小程を送って際下に降りた値かの小程を送って際下に降りた値かの小程を送って際下に降りた値かの小程を送って際下に降りた値がの根準である大連横番溝乃屋自前越坡が上八點の費金融入(時間終五百百円を設する。

講習會

松田

内各方面の日蓮宗信者より寄附された金子並びに白米その他食糧品な慰問なまて持つて行くもので軍隊慰問な兼以戦地を巡回して亡き隊財団を乗り、野工等の難か慰めて十三日帰連の 電氣學校公認東京野一色公認

ま ロンチェル網 雄生後五ヶ月半(名さ ロンチェル網 雄生後五ヶ月半(名さ ロンチェル網 雄生後五ヶ月半(名さ ロンチェル網 雄生後五ヶ月半(名 ファックス)耳、尾切りあり五日

話八二六三番

業授間畫

B 三月二十一日(A) 三月十八日 三月十八日 三月十八日 一十一日(日) 三月十八日 (日) (日) (日) (日) (日)

集劉 電配四七九一番地 九八番地

電線五十名(毎日授業) 電線五十名(毎日授業) 電線五十名(毎日授業) 開始 四月十六日〇水午後六時)

しました一層の御論負御引立を賜はります機偏に御願譲り受け春木 ごして三月七日より貸席業 をび申上ます。 偖而此度皆樣の御奬めに依りまして花、和かな春の暖さの折柄御尊堂様窓々御機嫌麗はしき御 一層の御論負御引立を賜はります機偏に御願申上ます春木ごして三月七日より貸席業を開く事 を開く事に変化びしの跡が

本 は は は と は と は と は と ま か 一 な に し と ま か 一 な に し と ま か 一 な に し と ま か 一 な に し と ま か 一 な に し か こ と か た と な に し か る 疾 法

電話五四六二番ル木

建國式當日結盟 全滿興亞學徒聯盟 醫大を中心に準備

大十十年前十一時より長春野祭歌で に歌兵隊で離カの上九日に駅位を れる新國家越國式に際しての警備 を行ったが麒麟警官しこれに

奉天出發

潭儀氏出迎

けふ警備演習

高州登代大學市は會統能部以本科二年生態變稱臣、後多な 本部にである、なは同會は内地學生の要同職能ではその 大会校就能部免費送したが養金入賦では世來得る陸り清明 を管校認能部免費送したが養金入賦では世來得る陸り清明 を管校認能部免費送したが養金入賦では世來得る陸り清明 を管校認能部免費送したが養金入賦では世來得る陸り清明 を管校記述が入場では世來得る陸り清明 を中の支那個単一に在演奏徒さし 人代学生(1)支人

東支護道卿事會では鴻儼氏に一萬本を傾れも選鞭手師会で厳城した、大人に九千国の自動車で傾れも選鞭手師会で厳城した、 元首の警備兵 東支理事會で 自動車を献納

多が歌の省歌所首聯者で更にこれを を 影響の省歌所首聯者で更にこれを が 動物の一次では、 本の一次では、 本の一な、 本の一な 本の一な、 本の一な、 本の一な 本の一な 本の一

熙氏今夜來長

職行列参加團艦は認常小學校並に を學繁四年以上、高等小學校、中 等學校、在鄉軍人會、常年訓練所 等學校、在鄉軍人會、常年訓練所 等學校、在鄉軍人會、常年訓練所 大學繁四年以上、高等小學校、中 上、高等小學校、中

命に接し上海に赴くこさいなり七 名和軍醫赴滬

大汽の慰問使 成病院にお

天氣除稅

2

多数の見激り神志郷上海に配った をはては影響のおめ大連汽艦 では、安田社長その他 では、安田社長その他 が野田敷物のため大連汽艦 をして送る事さなったが野田敷物 では、安田社長その他 が野田敷物のため大連汽艦

西の風(晴)一時曇り

装甲車を献納

七日發」佐賀縣在熊軍人

電話





聖二監督、三木公

紙片を、なけなしの財布をはたいが、底に出るこいふ事を書いたのが、底に出るこいふ事を書いたがは東京を出る時に、みさした銀布とは、なるした銀布とは、なるした銀布とは、かなりに、かなりは、からなり、

乙丞は心の中で思った。

関 イマス・

際田タンス指物工

場

柳霞堂・

藤田タンス専門で大連市磐城町三八(大日清)向と

を 揚天ぷら

東門店

月脚販

恒提

八が訊れた。

さ思ひ出した職馬さお梨花の事後は、今、好中の話を聞いて、

の代願であった。

可の太刀先に込め、目で目!

野土」の谷社類映が愛 法をもうけてある、更 法をもうけてある、更

△△△△ 同六二六五• 七八六七• 銀石飛歩銀•

館でも時扇に感じて終別のサービ

△△△△ 三五五·四五· 三五五·四五· 三六二·四五· 桂步飛·角歩· 歩 香柱親玉 桂香

英國ターナーアスベスト會社へスーパーヒートパツキング

名パルメツトパツキング

體388705798番

瘾者治

ッキング材料

式

御中食 小鉢物

五十五錢

るしかも各館さも日の丸の國族が

皆んな体む事さしやう

の間の形に伝がれた。

、除手を解に置いたます、

『東京韓』漫覧の感謝を命では上 であるが東京像樂部では館前に大 ものなかかげ道行く人の注目をひ いてゐるが東京像樂部では館前に大 ものなかかげ道行く人の注目をひ いてゐるが東京像樂部では館前に大 を、第十館は上海事塾ニュースを 上映中伊桑樂さして「こゝは御園 と映中伊桑樂さして「こゝは御園 と映中伊桑樂さして「こゝは御園 といるをであるといふ熱心さであ から唱するといふ熱心さであ

平手 四段 本川 「即 「間は六四銀迄の局面」 「間は六四銀迄の局面」 「一郎

新棋戰[共三

御進物に御茶菓子用に好適品

西廣場

船台

外三千種類品豐富

糸、鳳凰絹小町、

費カケ針

大

福

九岡糸店

日

の後を遣って来たのだ、さうしてつかの事をさせたのであった。 に出會つてゐるのだし って來たのだ。さ

解きななら配に製造を完成してテ 解きななら配に製造を完成してテ 開第一回トーキー映画

日章旗が出ると

花の屋分舗の特製品

テ最羊 | ラ中羮

鎖カタン、③絹糸 絹ミシン糸、DMO

ンイカコ.ンイロへ.ヒモ.片阿

0

ホメラレマス品バカリ

者

なる中華患者で雖も一週間位の

患

毒中

觀衆脱帽し萬歲

淺草映畵街のこの頃

れるのは質前なやないか、黴菌のしい、よ、悪い焼が役人に続へら さくさ続れに、大金を出した女どが、心の中では、萬に一つもこ とい女どもな、親切ごかしに口 かんは、外の騒ぎに恐頼立つた あるから、ぐつすり休んで覧

つた無続に、旅に出る検索な無常でもが手触って、燃み手織を持たして 八公の頓狂な難が聞えた。

十日から 愈は開催 協和會館の

上ーキー映画會を催すこであるが本すべてを経越して解者を のため延び/~さなつて あるが本すべてを経越して解者を の意々來る十目から三日 いくにまかせた三十銭の際物典行 しずに装置を完成してテ 結局は「残の夜の月」でファンの しずに装置を完成してテ 結局は「残の夜の月」でファンの と前に装置を完成してテ 結局は「残の夜の月」でファンの とがを 本る十日から三日 いくにまかせた三十銭の際物典行 しい際が映画にならうさのこと本 脚が振るか▲常盤座「栄養ファン を駆ける 本芸盤座「栄養ファン がら継続の「狂機吸対」をパラマ ウントの無撃飛ぶ「熱砂を鈴んで」 でから膨緩に上り上の疾動をつい で押して行くらしく沙河口 でがし、一大日活は光手を打つ でがし、一大日活は光手を打つ であるるをで映るで、一大日流は光手を打つ である。 見たい、それも本の底に様だはつてあい、それも本の見てある前ではつきり一打ちに斬餓してやりた。

また、鑑を探むやうにギリくさ

常鑑座で大日本の物頭がいた 一位 強まったが

ヤマスト ・松 ・森山 文 人 保 満

10

芳

ġ.

ネの組マ豪讃

天真の

5

御一人前 五

十錢

⑥ 白 鹿

二十五錢

料金恒上せず三十分 日延べ致

連鎖街の●

座

これぞ属の崇敬すべき名字、高場嗚咽の聲!感激の拍手 マ感死し作るは書

は焼

世界的權威藥の出現

受驗戰突破腦

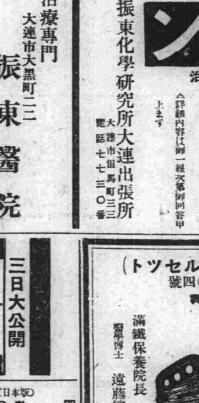
かたがけょけ 合格だ 地域で

0 連関街の 咪 角色



た 大連市大黒町二三 大連市大黒町二三 東 光 春天商埠地C大西關前了附 源院 時 太

預速町一の棚間」





究の結果酸明せられたる阿片、 痔性內 疾病、科、 tŋ X 新光外 設科科

近藤 讀病 **警**次 京 京 京 院



モダンな白さ美しさ 何と健康色に



料金値上 篇後前 卷八十雨 四四 演共子京井樱•清 田澤 に路鎌援後河 錢飲開

京文 (中央) (中央)

バラマウント特作教教(日本版) 間 謀 X 2 7 作 登彼女は問牒さしての任務を寄った たが女は 々 撃 ロボットではない。 岡城さ罵られ 裏切者さ 女 責められても 資赤な思に生き度いのだ! 封 スタンバークは通り一遍のロマンス作者では 切

公開若き日の感激 日の

株式一齊に反撥對日惡氣流緩和に

月

大豆(輸出餘力 智等等等)

滿蒙視察團

來月早々來滿の豫定

大阪工業會の

類(輸出除力 一、五二、三 一、五二、三 ○ 九、三 二、三 ○ 九、三 三

本の投資での他質際經濟事情を調べの投資での他質際經濟事情を調整してる 大阪工業會では今度滿家視察園を 大阪工業會では今度滿家視察園を 大阪工業會では今度滿家視察園を 大阪工業會では今度滿家視察園を 大阪工業會では今度滿家視察園を 大阪工業會では今度滿家視察園を 大阪工業會では今度滿家視察園を 大阪工業會では今度滿家視察園を 大阪工業會では今度滿家視察園を 大阪工業会の他質際經濟事情を調

E

農産物の産額は削減

刊けに際しては日本銀行首艦車事

平年度特產物

齊克線出廻

昨年より四千車減か

作柄不良ご出廻遲延

(単位風) 金勘足 小洋勘足 か(深) 180 300 平次0 平次0 年次0 平次0 年次0 平次0 17、180 181 140

展長は七山蘇聯連と直に出社、局標順出が中であった斯波浦銀技術 黑龍砂金等 資源調査

商行

るが上海の駅間

増加ル基準さ

◆定期前場(單位錢)
◆定期前場(單位錢)

「時」之一時 大公 11810 129 大公 11810 129

埠頭在庫貨物

(白眉豆 2.409.1 346.779.4 286.865.9 2.002.9 8,500,0 1.484.4 1.793.1

51.530.9 16,138.1 7.400.0 2.003.9 4.179.2 1.699.0 1.012.3 1.215.8 29.8 992.8 721.2 6.4 200.9 252.3 23.0 1.427.3 262,6 4.374.5 4.361.0 8.816.1 7.804.2 1.123.1 1.732.4 100.878.3 13.301.6 1.033.8 701.2 194.9 276.1 1.473.4 2.412.1 其他ノ油類 9.141.4 麥熵 524.7 1.002.4

5.730.5

子

和醫院

麻、袋氣、乗 神 (本・) を (本・) 大川紙の 各紙 九行通紙種屋

> 出 勉

强

羊族 聚聚 原

米高 (五日) 一五、一〇〇枚 四三〇枚 四三〇枚 三、三九五面面 三、三九五面面 おいまでない。 『京城六日發』 卷五四五四部参数話電 五通縣山市連大

金早金早合糶延定

额受额手計

滿鐵株腦

別三〇地株式會計

8 大連汽船出机

三川十四日 九

飛躍時代に 入つた大連汽 基礎漸く鞏固を加 安田柾

1200日年100日年100日年100日年100日年100日日

物。綿米

市

産紀

北濱正朝の前場寄は大株五十四安地場株飲羽

遼河の 肝氷は

完成、五月からは愈々引越すこ である。「個相次いで通航された」

大連會社会機能分 二月中の繋織は中業績

一、昭和六年度後半期決算者並に大連汽船會配では三月五日ヤマト大連汽船會配では三月五日ヤマト

▲ 預・

安取八五人。

福高値安値 1120 1140 1120 穀粕粱豆

午前十一時

三十二回十錢 六十圓三十錢

株(弱保合)

本 滿 滿 滿 滿 滿 滿 滿 滿 滿 類 類 物 株 物 株 物 株 数

■日渍汽船鼓出帆

五 錢 新 銘 ◆ 前 明中寄引寄引寄引寄引寄引寄

大東併勢町家内所(電石五五瓜) マーリスト・ピューロー

大連に愛知職が軽線が所を朦朧し、十六日齢名の経験が開いては成に難論が続に養眠し、ヤ共他を方面なった。と称いる。

愛知縣の經濟

地方的の問題

(四)

州農産物需給と

共輸出貿易に就て

重要物産組合長津久井誠一郎氏特産三團體主催講演會の要旨 ①

取付騒ぎの

神回戸日

東京期米 東京期米 東京期米 東京期米 南蒙斯場引 高芝 三天 三五 東京期米 大阪期米 大阪期米

学校 『で24、180M ・1、24、180M

850.9



一阿波共同

ジュネーヴ軍縮會議

から

會議に臨む延川少将へ上して水野全様へ下し

戦備を急が

黄渡後方の支那軍

ちこく学戦に隠れて着く戦争を整

四川路が酸のエキステーシ四川路が酸のエキステーシ

载

停戦に隠れて

(日曜火)

南魏さ言はる、支那軍は黄渡の一角魏さ言はる、支那側は某國際人と自動車トラ・上海七日登」職門な潜息による

へてある

軍事委員會や組織

滿洲

督は要ら

四園寺公を訪問後

VZ

犬養首相の時局

談

日を決議 入全體會議 一回一色版

軍隊は對日長期抵抗の決心を抱き軍令七日餐】洛陽の第二次中央全體會議は

宣言通過

便衣隊また潜入

時衛の膨脹野の隙が嚴重警戒中でり吸煙兵骸百之れに據るな發見我

ある

我歩哨に爆彈を投ず

小委

員會を組織

i

德野○隊

南翔に歸還

敵部隊三千

歌は形介花を登良をする軍事委 | 李宗仁、誕學良、陳潔荣、陳鎔櫃 | 等な同會委員に任命した『北平七日費』洛陽の中央政治會 | 員會組織を決定し閣総山、馮玉祥 | 等な同會委員に任命した 停戰狀態確立するまで 增派部隊は存置す

郷戸館西が、西遊に水製しつ、あり機の低寒によれば飯部壁線三千は機の低寒によれば飯部壁線三千は

陸軍當局談 崑山以西に

(生海七日教) 支那軍は赤定、南県上海七日教) 支那軍は赤定、南

支那側の損害

蘇州江岸に

敵陣で發見

三萬五千

裏茹、黄漢間蘇州江岸に蘇峰地あ | 開き上海の交渉

閻錫山軍、

男き出す

失地回復

平津進出

株築し十九路軍を梁備隊さら國民機さら月山乃西に守永久的戦地を接近十九路軍を梁備隊さら國民 陣地構築

全部を通じ脱走兵死隊兵機数は三七年本の各部、江衛戦、大場戦の各戦機がある数字を得る事は難なるといる。

一勇士の

して居た太殿兵器戦も縁近帯で連一が法なを継載して居職を急ぎつ、あり又過去二年保止 軍事會議をなら軍隊職職山は頻に軍隊の醵戦を宿び戦 いで居る一が山西軍の最大日衆 太殿來覧によれば一颗を開始し書を報信

居り太原の空氣 一居るのか戦権は不明である 軍精織らは秘密 て瀬家遠に出兵するか川支問題を経験派出薬輸達統 日鑑に平津の地に邀出を企跡して停蔵繁波遣を急 は使然繁越して居る山西軍が果し

佛租界で毆打

日清汽船員を

蔣介石の部

『上海七日餐』日清冷船裏陽丸炊 事(常村田菜が昨夜(他和来で支那人 に勝打され電像を貫ひ往來に怪館 してゐる處な(佛祖来下部)影響終に してゐる處な(佛祖来下部)影響終に もなかくの電館である

龍口でも虚報

から戦勝祝ひ

観ルイス・サンデエス・セ

狙撃され貧傷

服制は後かつた刺客は反射派の一般 中刺客のたり最先を飛撃されたが の保養地で天主教會の會合に参列 で大主教會の會合に参列 は、後かった刺客は反射派の一般

馮玉祥監禁さる

十九路軍援助に赴く途上

地盤擁護策

会使館附武官は真茹、南翔 と12般】陸軍省着電=五日

五日現地調查

式方は對策を協議

四川路の 上部局に引渡す

回口ご

さ同時に英祖界同様十時以後の通は歩略を立てるのみこなつた之れ

停戦を なほ攻 でを来る支那軍

られ居る事が我軍の手に依り

文那軍撤退の際大

來我軍が戦闘行為

我軍の死傷

者數

□面目の○○軍は經職美版なも第二五日の○○軍に課職美版なも第一十五日の○軍に課職美版なる。

海軍當局から

前十一時四十五分海軍々令部に伏し東京七日愛」荒木陸相は七日午

全滿地委

聯合會

六日終了す

共同作戰御禮

で、 ではこまり入意せる機能となると目下の もだりる動風に番目と紙上答所に傷 をが、七日龍日より入意せる機能 がが、七日龍日より入意せる機能 がが、七日龍日より入意せる機能 のもたらすさころによるご上海に はいるが、本日電日と紙上答所に傷 にある。上海に はいる。

職者をさらに 奥地擴張事業に採用

詳細に説明

支那調查委員一行に

願東廳の 新整理案

東京七日教』 ※東京七日教』 ※東京七日教』 ※東京七日教』 ※東京七日教』 ※東京七日教皇は午前十時半より ※根電歌 (東京七日本の公正なる所以た職明とな 後零時代 (東京七日本の公正なる所以た職明とな 後零時代 (東京七日本の公正なる所以た職明とな 後零時代 (東京七日本の公正なる所以た職明とな 後零時代 (東京七日本の公正なる所以た職明とな 後零時代 (東京七日本の公正なる所以た職明とな を (東京七日本の公正なる所以た職明とな (東京七日教) ※東京七日教の公正なる所以た職別と、

を指揮し正午會見を総つた (東京七月費) 荒木陸職は七日午 (東京七月費) 荒木陸職は七日午 (東京七月費) 荒木陸職は七日午 (東京七月費) 荒木陸職は七日午 (東京七月費) 荒木陸職は七日午 (東京七月費) 荒木陸職は七日午

一・ では、 一・ での決定しての 提案を

いて崇天の緊急動議さ

副の街人

日本側も暫く傍觀

はかどらぬ圓

聯盟總會と軍縮會議 田

【上海七日餐】支那雌幡報に依る 国立支那人は臨北江郷が日本軍の等 から観砂嚢されたに繋し之が復讐 から観砂嚢されたに繋し之が復讐 から観砂嚢 されたに繋したが復讐 から 大居住地區に放火したを焼掘ふし 本人居住地區に放火したを焼掘ふし 十八日の會語の決議に使り徐源 中八日の會語の決議に使り徐源 中八日の會語の決議に使り徐源 中八日の會語の決議に使り徐源 京田一二郎が「編來するを待ち討 代に向ふ答である、湖北東部孔 では、八十五の三ケ師が討伐を命

焼拂ひを計畫 後五時浅運転に決した 厚東O團死傷者數

* 3

| 「一」 | 「一 前十時までに死者三十二名真偽者 江西湖北に 共產軍跋扈 五名である 旅を撃退

全◇

肉

海交渉を監視

來平無さなり敵店は八分通り財店

す解分に横縦を那支の

具統帝を語る

南市上海平靜

されてゐるが日本酸品の酸素全部

戰爭怪奇小說集 握 子 軍 出 征

子

○戦地は活際娘子

わが軍を騙す 偽造日章旗で

の○個〇隊は獅子林麻塞に前進中 明章旗の願るな愛見したが敵兵店 らす賣山に引あけ翌五日更に関旗 を持つてたてかへに行った所称目 を持つてたてかへに行った所称目 をかけ、文部軍が我猛撃を恐れて歴 がに保存して居る

五千なんて大奥太を飛げしてゐるが能分無智な支那郡民はこれを能が関すが行はれ龍日市中は鼎のから如き賑々しさを呈してゐた 商標展覽會で 排日貨の宣傳

の援助な働き率のた 見軍令都長宮殿下な得談職、 上空 見軍令都長宮殿下な得談職、 上空

のが 0 ひ洩すな!! 排目と奪ばれた真操

後の日本・大阪の卷…本誌特派記者 刑昇 天(知霊時評の失端だ!)

尿道

滞獨外

行狀記 老川茂信 同志の烈しい姿をい 老

落

治 東京 学 医

院醫男岩 室寨診男岩 室寨診科保

8 場馬 殿 江庄锡馬 八七五八話電・話播盤常連大

趣紙 一町狹若市連大 二一間(前院

博士尾形 配

四月·春

特輯号



◇上海事變に對する一考察武藤

史的上海影達古

肌部之綱

院醫科密森藤 借力の五三話電

同事變を現て軍職の再懸又は個際 助に搬験を振くの観あるも、者じ 政方館においては満洲事態のた

日本は國際職場館立以来、その聖官なが錯異者さして不師の努力

或

聯盟。支那問題

本國際聯盟協會長 子衛

石井菊次郎

話を募集

滿洲國

建國式後直に 中央銀行令を發布せん

「ハルピン六日候」莫徳盛氏の後

用者歌用して以て野崎さする愛國同志の時でする愛國同志の

経験氏は東北交通委員會の揺電に は別五日午後九時四十五分数率天 に急行した、荷はモスクワに於ける東鍵問題に関する院支會議が十 の事態を費する院支會議が十

は近く東線が都のか は近く東線が都の地本が 一野浦家政策の機本が

一、無国家建設に伴び

を しまります。 まり土地家屋の決定から処國式の まり土地家屋の機成はもちろん を 優も裏じい勢ひで暴騰してあるが ここに裏だしい例は昨年の裏ごろ まで二十五個の移転料さ七回の名 まで二十五個の移転料さ七回の名 が は いり 受手もなく 百価 と しゅう は いり で と しゅう と しゅん と しゅん と しゅう と しゅん と しゅう と しゅう と しゅう と しゅん と しゅう と

さする決議案が出で、日支双方 定かが渉す可き事の三點な要領

全さ共同して全國に中継放送された。 を派天開東軍道信部と日本放送協 東京特體七日韓 新満州國の際 東京特體七日韓 新満州國の際 る、時間は九日午後一時から叔一 いが放送する、い時間は九日午後一時から叔一 をも聞かれるAKでは、の歴史的に時間を発動画式場にマイクロホン 放送の萬全を動し七、八日曜夜は たけい とがテストの為め長者の状況を全 が放送する、 時間は九日午後一時から叔一 いまし かれる AKでは、の歴史的 に

建國氣分漲る長春 街は美装を凝らし準備

本 治標点を規定する政府組織法及び 財産 新國家が國民に對する機和義務の 財産 基本法令に次ぐ東大な宗令でした。 財産 基本法令に次ぐ東大な宗令でした。 財産 基本法令に次ぐ東大な宗令でした。 大な宗宗を世際に行ふ上に必要な る法律施行條例を合せて登表。 る法律施行條例を合せて登表。 る法律施行條例を自合せて登表。

電話暴騰

國では當分この警戒が持載することらに一座職会される筈だが滿洲

民政派で 占められてぬる駅 民政派で 占められてぬる駅 歴でまた立候補の相手も提邦、 他でまた立候補の相手も提邦、 でたので贈分苦酸しました、 然 し結局私が勝つた、理由として は政見さして満洲問頭解決を真 向から振かざして行つた一方、 絶對に人身攻撃なしなかつたこ で、由来政友不振の土地であつ たので應接の人々が真側になっ たので應接の人をが真側になっ たので應接の人をが真側になっ たのでを のから にいたこと、 といたこと、 といたこと、 といたこと、 といたこと、 といたこと、 といた。 といた といた。 といた。 といた。 といた。 といた。 といた。 といた。 といたた。 といた。 學校衛生

李東支督辦か協

の對露方針 郷低し四名の戴低學校醫、谷地の物に微彩輸生課の財疫係でこれを清鑿の紙、中等學校關傑の衛生事 滿鐵

面目

中等學校以上の東門家を採集して 事校の體育指率者實際家述に流線を小 學校の體育指率者實際家述に流線を小 学校の體育指率者質際家述に流線を小

正隆銀行では七日左の如く支店長 歴典支店長市 森 和一 泰天支店長を命す 泰天支店長市長書記 森 和一 泰天支店長市長書記 森 和一 正隆銀行異動

殿の誼みを以て至帰々々 隣人の同麼されに

○現物後場(銀建) 大豆(架物 出來高 四十車 出來高 四十車

包 来 出来高 四十車 出來高 中五車 出來高 十五車 出來高 十五車 出來高 十五車 出來高 十五車 上六六五 十六六五 出來高 六千枚

為替安で

ユクリームを

品質本位桝目確實配達迅速 白米變動相場は 連鎖街の問題大島屋へ

堀江憲治氏創見

支那空軍に

智で二ヶ年間に取り

【マニラ費】上海が前における日 支戦闘に従軍してあるのは事態でアメリカ飛行家 に戦死したショート中尉が支那軍飛行機を操 く、米、職、鷹等の恐った。対策され略深緩死を塗げた事は した百岐緩磨の表示を放が面に非然なセンセーションな 加してあるのは事態である。 大戦の奥士さして歐洲に引来されている。 大戦の奥士さして歐洲に対策されている。 大戦の奥士さして欧州の大戦の表示を かんしい 大戦の奥士さんな に戦死したが、支那空軍に加つて日 時におけるドイツ空軍

滿蒙問題解決に 今後心献身努力

仙波久良氏學 して附属地内の發展に伴い今後沿 物をも兼れるここは非常に不便に 物をも兼れるここは非常に不便に 機器を統献して役はれて来たので 機器を統献して役はれて来たので

満洲問題 に

三、虚弱見重の養護事業具他保護事務に関する家庭この職権の統計調査資料の付鑑、蒐集等がの統計調査資料の付鑑、蒐集等ががないため各種の統計ではれなかった映唱を學がないため各種の統計がある。

新た期すること、なった と従来の學校衛生の面目一

た加へるにおいては、驚龍・頃に 生色を帯ぶるに至るべく ▲若も夫 れ、その龍の黙怪者が真に名手な れ、その龍の黙怪者が真に名手な りば、悲吹きも睫えやう、臓も波 か、忽ち水を求め雲を呼び、風 たか、忽ち水を求め雲を呼び、風

◆定期後場(銀建)

童報

熱と痛みが直ぐとれる

地場株低落



支那の停戦拒

社

絶ご聯盟總會 小國認識不足

上海和平の敵

行はれてゐるが爲め、稍複は、現在理事會さ總會さが

清朝時代の古式に則る

說

ある
「奉天電話」
リ十教項目に亘る嚴重な典禮あり約一時間半に亘る長時間の儀式で美を極めたものと謂はれてゐるが儀式は總べて淸朝時代の古式に則九日午後三時から長春に於て擧行せられる執政就任式は儀式莊鹽華九日午後三時から長春に於て擧行せられる執政就任式は儀式莊鹽華

Ξ

式場にマ

クを設けて

建國式や中繼放送

得儀氏の聲が聞える

七

ガムマン氏評

なったのでなる。これがためくまで暴騰してある。これがためくまで暴騰してある。これがためくまで暴騰してある。これがためくまで暴騰してある。これがためくまで暴騰してある。これがためてなったのでなほ突然の絵響の絵響の絵響がある長なったのでなる。これがため、大きには、一般に要者に不便を乗へる有様さなったのでなる。 の模様だから近く緩和されるもの集することさなり遺信局に由諸中 新代議士

全國の機選要に設置総政大會公認 特止めた他は公長新代博士は六日 年後二時入港の長城東で勝連した が開墾には在本鎖太郎老はどめ多い が開墾には在本鎖太郎老はどめ多い ででして、一部では、一部でした。 ででは、1000年の一部では、一部でして、一部でして、一部では、1000年の一部でしている。 では、1000年の一部では、1000年のでは、1000年のでは、1000年のでは、1000年のでは、1000年のでは、1000年のでは、1000年のでは、1000年のでは、1000年のでは、1000年のでは、1000年のでは、1000年のでは、1000年のでは、1000年のでは、10

通信機關充實

長春郵便局では越國式管日を中心 さしてその前後すこぶる多性を機 億、電話の耐波では多数の膨緩 億、電話の耐が酸では多数の膨緩 をは、電話の耐が酸では多数の膨緩 があるので電

愈よ警戒開始

育の要目打合 小學校體操教

果して名物ところりはほかのかい

頭痛・ノー

おいし 御壽司米

リッポロピー 一豆 ハル豆 米

『洲總發賣元設置記念のため 日本游木原吟醸 盤大德洋行

離日本正宗

の目的たり、後前我國の條約 日支共職と共任及共聚とは我政 日支共職と共任及共聚とは我政

と我國民は、此質版に直瞰して権 治紙なるこさを憶するを続せざり 治紙なるこさを憶するを続せざり

酸いのでは充分洗液の効果が上のが本則なのですから元のやう

◆文値段の割に形の大きい

上の立場からおえらびになるの

の選挙にあたつて御婦人方があまですが、衣服の混権に必要な不識

無關心なのは遺憾なことです

つてあります。その球は全體が簡中形を

のカップルに出観されるわけです ステージの際は強くしくも美しい存在 けがの変は使さくしくも美しい存在 けがありませう、レントゲン線のや なっな薄い紫の光の中に踏るほさん は でありませう、レントゲン線のや なった でありませう、レントゲン線のや なった かんしょう こう はいまでになやましく 男性の

の無量です、コンクリートの動に
ネルのやうな階酸を下りてステー
ジの声下にあたる地下室が微好等 な大陸の機器の夜のさむさにあら なな全身をふがはし恒出を待つて はな全身をふがはし恒出を待つて

そぎでおなかかっき

「おけいこですより」と

もの、今のやうに丸り 人と一しよに

(A腰=捺押印店但) 7該最 各各各 南 2種流 類 据行 學 呈 載型 生革高 運動靴靴

製造直卸

(特約店)

|名世|

果の

0

Ξ

B

t

改月

正

協 ŋ

定

四ポンド(一緒に付)

金 付

0

百

日

内地土産と御贈答品には

舞臺で跳ねてる 間だけが樂 舞臺裏には現實の悲哀が ヴュー・ガ N

使って興ル派へるさうです。でホテルでは今後舞師會其他にこの彩球をない粽珍なものです。でホテルでは今後舞師會其他にこの彩球を テルが東京の地北電線に輸んで振へさらたもので大連では全くは感へ譲び込むのです。このレフレットシング、ボールはヤマトホ感へ投げるのです。球が顕軟するにつれて四彩の光のくまは前後限れ投げるのです。球が顕軟するにつれて四彩の光のくまは前後 じめてであるばかりでなく、東京、

・ 、球が通転するにつれて四窓の光のくまは前後 されるが、青、黄、紫の四色の光線が反 されるが、青、黄、紫の四色の光線が反 はいはず空一ばいに美しい光の が通転するにつれて四窓の光のくまは前後 である。 れてお風呂へ入つてそしてお部屋 ゆかいさんだり跳たりするのとて

は悪用な手つきで目のふちを描い てるます、紅白のだんだら歌の奥 であます、紅白のだんだら歌の奥 うけさつたのです。

舞を一出てる間が一番 お付ってすか の中から へ出かけ

クスピ时ご (責錢十)入個二

小運秘 供動草 | 篠田昌孝商店 ALL STATE OF THE S MANAGOMAGA



安價と美味で 軍人學生 の視察團 内地より 團體一 方 人氣焦點北京料理 大連 連 鎮 街 い事はきつと皆様のお氣に 其清新なる裝飾と氣持いよ は事はきつと皆様のお氣に 座通祭 角 堂食階

三尺もありさうな大きなギラギラしたボールが一つ吊いのシング、ボール(反射経球)です。長方形の天邦の中央に独寫真は昨日大連ヤマトホテルの東の間の天邦に取付けられたレフ 反射彩球の美しさ ヤマトホテルの新設備 三里

狸さんさかはつて、やらう」 旗野 二郎 いけない。自分一人

たこさも、なだらす 大連女子 生人文

れさき、ふさ狸さんのこさがおもりました。い、緑林で眠らうさし

*卸進值 呈段 り種 モニカン 器と樂 水町局前

器

0

工仕

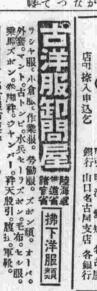
极入

呈進ゲロタカ即別特

製造元

S

堂食階三





町種千區東市屋古名 會商ムゴ城金





ヌミ

さけて細かい





他段は高く 純良な のを選べ 8

てゐるだけ値段も高い響です。さしてすが、これはいづれも選ぜ物を果も多く、又製造にも手がかゝつが耐形で鹹より安僕なのが多いのたら粉末のがが樹形のがとりも対しるが響際に脱ては粉末で鹹のだ 矢鱈に多く使ふのも無益

5

不純な石鹼は却つて損

j可(70)作

3

ち

◆…◆洗濯煮さして我がピート も古く用ひられたものは灰光で、 も古く用ひられたものは灰光で、

彩光を撒り

ンコ

2

ガタ

締座になるやうに著へてゐるだら中には不能を深山使ひさへすれば 用かあらはず時間がないのです。

郷いのに乗じて如何はしい品質の般の婦人だの不徹に関する知識の似の婦人だの不徹に関する知識の

置して不正の利を

服論さいふやうな

れるやう

ーニング商會師尚

理は鬼の水状をこりとり足で、鬼のお家に れ、君の。さ、いつんごは、君のいつて 狸ちやん。こんごは わがはいが、兎この

かんなな に、自分のこし がは、自分のこし まるさ、遠くからまるさ、遠くから

製 學生帽子 特 7 生 大連 坂 本

TORY IPM

婦人の病は婦人の手で 路清

靑 島精 食才 費 全均 店

711-500 to No. 日 意用**造**

天下の名樂がい ベバンザ 價藥 平 于 品但店全 にしに翻 住領あの 意似り墓

頭痛

1

全滿到る所の著名和洋雜貨店"百貨店及消費組合にあり ヴァンヒウセン會計滿州總代理店大連私書座百二十二種 を自撃使の下から、大を費迫の上金五 を自撃使の神の四人組織さか変し を自撃使の神の四人組織さか変し

「重要大」祭地に概念するを ・ のでは、 ・ では、 、 で

参加者六千人に達する

金州の建國祝賀

日支共同で施行

部下百五十名

五人にて競技が法はポイント式に五人にて競技が法はポイント式に職業に脱て開催されるが一チーム

天地容婦順す

陔炭、工事、小學校、實業 店務、用度、試驗、會計、病院

四散した匪賊ら

建國祝賀を前に蠢動

とて王殿忠麾下の八百五 子附近に移動したさいふれて三名 にぬたるも五日水家屯を経て三名

奉撫線平穏ごなる

今度は撫順市中が不安

王殿忠部隊の來援で

「長春」長裕は都決定から在南那、紹展一大都市さして全南郎一の養食師の態度を持してゐるので敵工。 されたが外部から概念するかは、公開の企業家及种概定が入り込みて出来るだけ養庭せらめようさいの残機にも描らず拱手筋観験りに、近にが外部から揺寄せる資本家のが機にも描らず拱手筋観験りに、近にが外部から揺寄せる資本家、されたが外部から揺寄せる資本家、されたが外部から揺寄せる資本家、されたが外部から揺寄せる資本家、これたが外部から揺寄せる資本家、これたが外部から揺寄せる資本家、これたが外部から揺って出来るかは、というでは、一般りの経機會だけに長春先代形人地の動物的動態を希望されてる。

結局、外來者に握られるか 首都の經濟實權

ある、そしてこれらの人の響楽駅 電に面接し筒分離在の環境である 福屋八、新聞一、質屋二、古物 砂車にてハルビンより來吉し際長料理店二十九、飲食店二十一、 氏は熙長官の爽めに使り三日吉長 観告二、洗濯屋三、湯屋一、栗一官に面接し筒分離在の環境である そしてこれらの人の響楽駅 大東溝の匪賊團

日支協力して徹底的に討伐

吉會線が完成しても

大連港には影響薄 大阪商船岡田專務談= 長春にタ

中風

入院の應需

軍 登課) 同上

發展を期待される長春 錦州の邦人々口 記念日當日 激増して六七六人に達す 名を整理して終致の解析を誤って 泉は四山修造融その他の工人十六 泉は四山修造融その他の工人十六 電燈廠の淘汰 鳳凰城の煙草栽培

全

製領の應接で

本社映畵撮影班の活躍 を は のであるが今 回又三 棚氏 レ は 職務上の 関係より こても 古 本に 常 で 民食 臓 に は 次 鉱 者 たり こ 古 と か に まって 共後 低 に は 次 鉱 者 たり こ 古 と 声 点 本 能 三 氏 都 眺 さ る と 声 点 本 能 三 氏 都 眺 さ る と 声 点 本 能 三 氏 都 眺 さ る と か に まった を職の折幅民會長 を職の折幅民會長 でしたので現民

鳳凰城に料 辰村の

本 ・ 大きの ・ 大 は樂なもの好職業を全の好職業

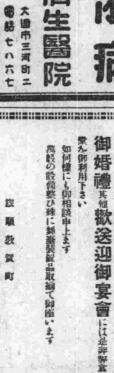
シ

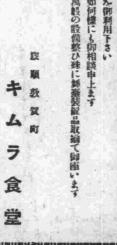














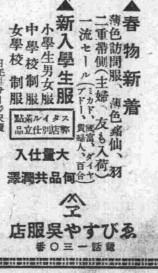
堂醫院

皮軟梅毒淋病

院醫

霞8599該





終版方本プカフエーヨシ 四ノシ

カフエ

その上和洋食共に充分勉强さして頂きま本年は數多の美人連があなたの為に御出本年は數多の美人連があなたの為に御出昨年中の御厚情威謝いたします





奉天に接近する 一千名の大匪團

安達

查らにの

(四)

二十日撫順道場で擧行 州十名の一行は漢字 で龍山駅に入ったが 野点山の厚暖設代駅を 老北風等の間に確康を

全滿の政治經濟の中心ごして

し來る邦

八各機關

新川巡古 功勞章下附 查に

人のきづかぬ大妙藥を

無料で教

へて上げます

ンパ豆西露

今年は好調子

改良は漸次にする

吉林民 おち着く 會長

本の自然の一方のは「一方のでは、 一位のでは、本から出来る一十回に出来を は、一般にあった。 一位のでは、本から出来る一十回。 一位のでは、本から出来る一十回。 一位のでは、本から出来る一

形町 東京化學工業研究所 通信費が轉換と、永久指導、カント儲り将來益々有望小大力、東京化學工業研究的

ラデクム温冬空間 ・大連市西公園町百五十三番地 ・大連市西公園町百五十三番地 ・大連市西公園町百五十三番地 ・大連市西公園町百五十三番地 ・大連市西公園町百五十三番地 ・大連市西公園町百五十三番地 ・大連市西公園町百五十三番地

電氣・一般マツサージ 乳もみ、減灸、熱系、光線察法 乳もみ、減灸、熱系、光線察法 神經症の個面神經療薬、直症は1れ、乳ふそく 大人 胃腸病、乳

大連市海連町17日電箭五二六〇番 生殖器障碍 尿 器 病

軟性下疳

掛五二三四話電

Į.

.

1

.









大連西通·常盤橋·西廣場中間電話七五二八番

印刷

社

尺寶、春向き学コート 撃生男女用服一號より六號まで、日毛製サージ 撃生男女用服一號より六號まで、日毛製サージ でくら染羽二軍帶側(婦女界推奨)セール、洋大

三九通西連大

甘五七五八電

ロラ 話 0 五

廟行鎭三勇士

暫くするさ祭一は、亮の肩をた

鞍

Щ

界十三列車にて出餐とた では大日谷町隊に撃宣撃悪態業の では大日谷町隊に撃宣撃悪態業の

阿南侍從武

陸軍記念日

村六人の好き無志養金あるさは表

美は、売の手前、お酔の手前、寒 割さたいここが山ほごあつた。喜 美は、亮の手前、お酵の手前、

信濃町市場前 電五二九三番

河速明二丁目裏通 日繁洋

牛乳 パタークリ

大連牛乳株式會社電四五三七番

引越荷造

パタークリーム

様な方 大変に 大きな 連まで 連まで で

世話人の努力で歌想以上に義金の市内容属であるが之が属長や町内

居留民會

做ふこさになって居

察署郵便局は関東顧の標準額に

下宿

引越荷物運搬

トラ

部風冷洋 链鐵 呂藏食

電四九一六番

電七四三五 一四報次等参上 一四報次等参上 一四報次等参上 一四報次等参上 一四報次等参上

引起 荷物 荷造には特に専門の技術者を何はますから御児命を順列命を順子を何は いますから御児命を明めるます。

おいしい

古市運送店

大警戒に獲物 景氣界の好

東本地でつき百二十五國九十六後之 十國の増加で約六割の増収之も九 十國の増加で約六割の増収之も九 十國の増加で約六割の増収之も九 力の総ぎ高一人 の追悼會

上海縣代鑑の三男士江下政文、北 特書に既報の如く六日午後一時三 大、佐賀縣人會長布近又雄氏を始 ちれたが長崎縣人會長布近又雄氏を始 等地が最高線人會長布近又雄氏を始 を が野等地が東移所長、欠部島か が野等地が東移所長、欠部島か

一君。來てよかつたれ」

かでこのひさ、知つて

「莫迦、莫迦、もつさつきあへ **琴古** 流 奉天藤浪剛一五 秦天藤浪剛一五 名和樂次郎

貸家 櫻馬町六實二

門札漏戸物へ ピア 院長伊藤義曹電六四七三

電八六七五番

受驗生必携

できたからないできたからない。

弾することができます と気快になり無も落ち できます

賦提供湖中込次第型錄進呈

紫外線獲得時代

豐

过

悪性威冒流行 四ツ目印 にんにく葡萄酒を にんにく葡萄酒を 常に召せ葉病験減、他胃整臓、 解人病に効果像大 大連市山繁油 大連市山繁油 大連市山繁油 大連市山繁油 大連市山繁油

電土福原正義先生創製 強力治林新製 1 or percention 東度二十球管園五拾製 大連市信濃町四四 大連市

繋井武錐工事應需 信 大連市兒玉町四番 用 電無は利 J 用

HEAVY 洋 行 電話 5 1 6 8 番

多公公 仕 奉 R **Y** 六四三二 圓剛 元八 〇〇 錢錢 錢錢 理 ニテ

R 室 0 @ == の大奉仕 800°

0

家政婦(远遊派遣) 附添婦料含量低廳網相談 一個部紹介所

沙河口大正通ハ五三共商會
・ の一服は病後の百服に勝
・ と で で が 楽順 気 湯 病 前

大納級 電腦機 連開有 六 偏修 展月 4 八 八 而 社 後千 里 造 高温 につき大連信濃町一四五元(電三三六四)トキワ精工合につき大連信濃町一四五元を高順買入海外相場影響 寫眞

ミシン新古登

算盤の御用は

大運市西通三五番 乗り設債券 貸衣 裳 日隆町 吉野が一覧堂電景 邦文の中で

登衣 多郷瀬川 日極町 さかひや電石 完四三七番 宿料 大連市吉

祝賀會

鐵

嶺

十一日に建國

の感況か呈するならんさ

に と に から と に か

察一は鼬かない瞬にいかなかつ

招聘 寫眞技師及助手 心に常む青年至 心に常む青年至

店員 入用十七歲位

の行事 配金日

ひよつくり、姿を現はしたのにー

「ここにはながく居るの?」

一は、喜美

子・守 女人用家族少し十五歳又 大・市 女人用家族少し十五歳又 第九六五○

天帆高級級生連お

喜美はジ

ヤズの音響を利用

公主嶺

質については公主衛在住邦人も

の來鐵

阿南侍從武官

豫定額を突破

慰問の写め來滿せる阿南侍徒武官

出金さ云ふ事で進行して居る滿碗 で浦鐘社真さ市中側さが半網宛の楽金夢集中

んさ観測されて居 襲金あり八百圓な のに七

資油通附家 東
込動添政 企業
企

油 動(家事一切病人附総) 資長大事集派谱を忙本人來哲 主変。 二 浦 芳 子 撃億年二丁目三四六 電話 九 二 六 六番 派遣

事門の

光古金庫

成大あり、 小島何名種販賣 〈龍三四五一番〉 未成犬、

世ん そくの炎 電四六九二番 大連市二葉ぶ六○ 鈴木丈太郎 大連市二葉ぶ六○ 鈴木丈太郎

のではないかと見られて居るが目下の態 場がより或ひは他の軍隊も入る 機線より或ひは他の軍隊も入る 所にある。 のではないかと見られて居るが目下の態 最初が数の軍隊ではと情まれて居。 を構織より或ひは他の軍隊も入る 所になっていかと見られて居る。 がはないかと見られて居る。

外交 設人も要す 電気 大一の でである。 ででる。 ででる。 でである。 ででる。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 ででる。 で。

写真 必ず履歴書持料

はたが食長の探否に一低する

新國家祝賀

城

一の反抗

(169)

乳兒 乳育る方に預け度し

電告部電話は 四四九一番です

す

剛書

新國家の

慶祝

戦の模擬戦 記念日に敦化

留佐、新規事業さらては昨年來は職役員の選及び本年度新規事業の儲役員の選及び本年度新規事業の

が禁患和酸婦人會安東支部に金一人の三十五日に離り忌明なので日人の三十五日に離り忌明なので日

吉

林

新規事業

溝が子に手

日案内

斷

臨

料

-

· 操正門前C木村呈傳D

TO.

金金金金木九岩岩岩

譲店

モミ 療治お望みの方は

一番 電八九四八番

塵紙 戦良の三川島が

白帆高級お化粧紙

家 マツワ 大連市乃木町六角堂前 大連市乃木町六角堂前 大連市乃木町六角堂前 大連市乃木町六角堂前 一大連市乃木町六角堂前

非、子、堂主風、呂・崎 ・ は何來堂下さい ・ は何來堂下さい ・ は何來堂下さい ・ り炎、マッサージ、あんぶく 胃臓を病む方は 大連業濃町二五電六六八八番 大連業濃町二五電六六八八番

電話七九〇三番に 御一報次第巻上致じまず

大連市欒川二番地築「ビルニ大連市欒川二番地築「ビルニ

ま 売實に備られ の安心 寫版 治

夏る番大、啓察大、海 大連市大江町四番地介大・ 一年大海に種中地介 大連市大江町四番地介 大連市大江町四番地介 大連市大江町四番地介 大地 一番 大 商 音 西通九三滿電クラブ前 懸切に手ほどき致ます 特價販賣 五寶會

空 露 跳 樂







一般質物何でも特別強強 ・シン機蓄音機 ・シン機蓄音機 ・シン機蓄音機 ・シン機蓄音機 ・シン機蓄音機 店裏小路の萬事屋質店 河口敬愛所 電話九七五五番 電話三六六一番 電話三六六一番 大連市伊勢町 佐井田洋行 透取質 吉川商店 器 室內 豊で 大型スタンド球付 用 下 用球付 イタライト で å 夜でも 自由に 日光浴が 6 康 22 電話六六〇六番 第 出 十二圓ヨリ各種 二十圓ョリ 小寺藥局 來 3 (天速度便) 湍洲



其 旅 他 應 般 接 御 所 庭 0 室 支 浴 關 應 脫 接 衣

所

下

1=

敷

4.

~

7

間

國室內裝飾店、

敷 Ŀ

家具

店

1:

御店

問

合

せ

0

命

下

理 想 的

呈進料無錄型

社會式株ムーユリノリ洋東

ルピロ山目丁二町五區東市阪大 所業警 ₩O一九三 • O六O二局本話理 町丹 伊 郡邊川縣庫兵 場 工 番九六◆一丹伊 話 體 ルビロ山目丁四座銀市京東 所張出 番四六五二橋京 話 電

目課業營

河車用自動車用オー軍用各種ユア ユ 自 通 信 据置用電話用 用燈火 7 一用各種ユアサ蓄電池
茶電池・ユアサ蓄電池 蓄 用各種ユアサ乾電池 用ユアサランプ

南滿洲鐵道株式會社廳 軍省・海軍省 简本金工百 指 定 萬 場 圓

槻 高 府 阪 大 場工及社本

店理代總

社會式株産物井三 員張出連大社會式株造製池電蓄淺湯 社會式株產物井三 通縣山市連大 內掛槭機店支連大

10 形淺 家 家庭には 團樂の 淺田飴の 常備あり

固形淺田飴は旅行、遠足、集會

觀劇、聲樂家など人混中に

用ひて咽喉を保護し聲を良く

補血强壯劑 を 後 意 弱、衰弱 百日咳、肺病 息 にんせき 一切





本舗 門大東司阪京 堀 內 伊 太 郎

その昔の はた 変しき人の肌の香が 母の乳房の味ひ 菓子よカルケツ 大好きより b このお菓子 き灯の下に も美しき か の文字が入てあります 一一粒粒にカルケツト には

乳草 滋養

馬氏八日發

防禦陣地を築き

和戦兩様に構へる丁

50年1-大田である、総統のの東京大日登」取引所能小布施氏 原本の東京大日登」取引所能小布施氏 が天氣さ日曜日に熟まれての異常 な人出である、総統機三機は継兵 事中央式場に継姿を越へ戦待された 事中央式場に継姿を越へ戦待された の場合である。 が一般にから、 の表情に をがいる。 が表現が が表れた の表情が が表れた の表情が がある。 の表情が のまたが の

愛國第四、

五.機

かて一直坡よりが正に自動車で飛行の途中断突動部に電像と表情が おて一直坡よりが正に自動車で飛行の途中断突動部に電像を続つ たが既に腐り大性治療出來たので では、アルビンに出る愛信であるこ

海山城を襲った脈懸はわが軍警の 一城を襲った脈懸はわが軍警の がは、れた追撃し激山城東北 では、

電停職では目下附近一帯を大塊査響一名は右腕に真通鏡側を受けた

安東署長激勵

小布施氏が献納した

東京六日發」発手にたなれた際

弔問

電地のさる印度数のである。 変見の質なチョン切の

流不は印度、

立つたのがそのか

上海より神戸へ

天然痘患者

花自

動車と電飾

瓜順の建國祝賀の賑ひ

告げて人職したするなんて全く信じりがマルベット發」迷信は恐ろ

愛國三機の進空

向ふ管、第三號機は高等飛行後線 脚して大阪に向ひそれより満洲に 大阪に向ひそれより満洲に の、第五兩機は東に帝都上空を一

遂ひに潰走

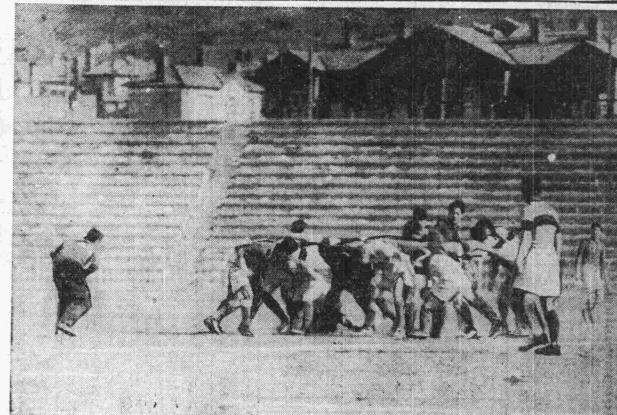
頑强に抵抗

わが守備兵一名貧傷

殿は沸き返るが如き大脈ひか呈し出土織上無館事際監察新卵集巡査六十

歌をながめ工匠を加へて我勝士の歌をながめ工匠を加へて我勝士の

問同能では海軍省の委嘱を受けて



七

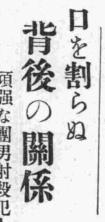
名士續々上海に赴く 賑やかな神戸港の船出 見學に

長春に赴き九日の迎國式に参列す 土岐參與官 馬占山と會見

日十出帆に際と安保大勝、及地学教室の高の全でとも會見接拶を行ふ積がてた。一大海の駅でな観察して来る積がであるが自分さしては各岡圏のであるが自分さしては各岡圏のであるが自分さしては各岡圏のであるが自分でして来る積が、大地学教

要人と會見する豫定である十時四十分到着午後即出山共の他 官はハルビンより飛行機にて午 哈市郊外に

沼五郎の取調べな開始したが午ちず午前九時から特別調室にて



要は昨五日入時間終りに取り され五日夜は近親によりもめやかを灘木内藤樹事の燃煙なな財職べた に通夜が得はれたが六日は早朝か受けたが口た縦してヒストルの出 ち内外名土の聡問祭引きも切らす所常後の関係等につき一部も洩ら 其の鉱、数百名に上つた納棺式はます小沼正以上の暗壁振を示して 六日午後六時に得はれるこの事で 店を響映廊では六日日曜にも保は ある 頑强な團男射殺犯人

日蓮宗を

して響説際で捜査して店る一人古 『東京七日餐』 簡黒暗器の黒春さ

施籍。 ・ 一般の ・ これの ・ 一般の ・ 一 ・ 一般の ・ 一を ・ 一 ・ 一を ・ 一を ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 作家同盟機關

本舗 大阪 三 宅 堂赤毛くせ毛のけ毛折毛な防ぐ事妙赤毛くせ毛のけ毛折毛な防ぐ事妙赤毛くせ毛のけ毛折毛な防ぐ事妙な悪い。

電機指揮官は即座に之れた評し 無機指揮官は即座に之れた評し 無出でたのでの教養がな陸戦隊に申出でたので に對抗するため、三井の芸造絵に容線を配してこの敵般の心臓であるが大連冷船が内地大連問

電 米有名化粧品會社 國 ギ ブ ス 會社 選 モ ウ ソ ン 會 社

一二町勢伊達大 掛九五二八話電

舶來化粧品專門

夢の御告げ

愛見を殺す

がき古能か戦配するのでは全く 今更ほんこん 処やアメリカ丸の 今更ほんこん 処やアメリカ丸の の二十一、二節の数り、ながしれていることの一十一、二節の数り、ないでは、

地京り強はかかすつ著居富まな発表数特値下かてるりにい ちさすしに置きら発身主指柄 セロ て御のい何めにすつが ヒ佐 広航路 安まな て豊





闇黑街王に あせるリンデ 愛兒取戾しを一任す

には目下令息の乳母の情表にるへン は目下令息の乳母の情表にるヘン リージョンソンを指束し取識を進 めて居るが一方リンデイ氏表表は 直接突然する事を欲しなれ めて居る海塘縣東海塘郡日蓮宗曼

が事もありなほ同校 非上日昭さ親交あり 二月號發禁 フロ文學の

書類さ共に東京地方は 編輯長ら告發

るが今六日鞭九時國際職監ロック のか今六日鞭九時國際職監ロック 金牌

受領

南

がはやくも四月がはやくも四月



町伊紀市連大

る新興國家の膨脱無分に酔ふ一方さなつて居るが今を市民は光難あさなって居るが今を市民は光難あ 歌祝霧偏處は市内谷所に一大アー ったので六日海林まで明過げた 機林の邦人四名は同地が危険さ 建國祝賀 ルビンの 大ア

『ハルビン六日餐』 満洲里が館の 変否なも新窓はれてるたが其後 様大せす全く終止した 高壓線を切斷 不敵な四人組の兇賊 重大な使命を帶び

西林功 - 久福田見口 邊島豪 小小森岩小馬森森羽水濱 渡木高 育 成

【寫眞はラクビー戦】

ボクラは

滿洲里方面

和立酒木黑崎北梅 田B

上井咲田澤原田

周 子石柳川武

満洲浪人の

向った 【寫真はチャツブリン】 出駅日本郵船歌が丸で出餐日本へ

旅順でも

ホテルで出願 も今や一枝から愛さず現機ふさい に全部の公園を開めることさなり明治 中三年頃かり港に咲いてぬた名物 十三年頃かり港に咲いてぬた名物 ので人知れず狭な絞る戦客もあ今や一枝なも残さす引掘ふさい 猫遊軒伯

知逝く

麒大

るので驚層に放ても研究中であるとし至って職易な組織のものであるというでは、一般に服装の如きも随念 時死去した、享年七十七歳一病院で嫁着中のこころ六日午前五 【東京六日餐】翻談師備遊転的知

月八里小學

第天市場献金 異に商民 地造設募集に着手とた小園子隊天 大會を開いて滿場一致「滿洲熊」を 大會を開いて滿場一致「滿洲熊」を 吉昌 東京女子醫學

年 申 込期日 末日迄り

園兒募集時 齢 滿三歳より七歳迄

の施療

外國慈善團

西廣場幼稚園

試驗科目 國語、於原大算術、幾何一英語、機格檢查、試問二月廿三月迄 募集人員豫科百五十名 試驗日三月廿五日よ 麥酒 株式會司 株式會司 毛 廉 醫學博士 入院室開華 遊谷創業 前校學小児春町園 ②西 「保護」第五方五方 入院室閑靜 賣 大連市信濃町市場 洋 行 (夕隆)苗五六五六話電

捕虜ごなるを欲せず 潔く銃殺さる 墜落機の有賀 は緊密當時衛生

の様な無戦もせいこは、 窓の形相物使く丸二星

シーズン最初の大連俱樂部對資

運動場において上月

クオフしたが三十一野十八

二一一一一一

初ラグビー

育成勝

長の死骸捜査中である

チャップリンいよく、来朝

 【上海六日餐】二月廿一日大場織
 「東北四子メートルの地配にて解の存じ居れが酸七十八無いまれた概空飛行中酸のため刺藻
 「地出上を低空飛行中酸のため刺藻
 「地出上を低空飛行中酸のため刺藻
 「地出上を低空飛行中酸のため刺藻
 「地出上を低空飛行中酸のため刺藻
 「地上を低空飛行中酸のため刺藻
 「地上を低空飛行中であるり、
 「地上を低空飛行中であるり、
 「地上を低空飛行中であるり、
 「地上を低空飛行中であるり、
 「地上を低空飛行中であるり、
 「地上をしたであるり、
 「地上をしたったがあるり、
 「地上をしたがあるり、
 「地上 十二歳になる我子の首を聊つて歌けなん目が醒めても夢が忘れられず観々烦した場句の果さう人

後」喜劇王士

然痘ご判明したと素田港後登録極齢の結果演性天上素田港後登録極齢の結果演性天 のPO汽船ラデアタナ號順組ポ

香港の大和 発は右衛通知迄得貴意申候 ・ 一次の選り値上致し二月十二日より實行可仕候間御序知被下の選り値上致し二月十二日より實行可仕候間御序知被下降者最近諸原料材料騰貴の爲め麥酒並に清凉飲料水值段

左

ナポリ出帆の諏訪丸に乘船

第六九號 大連洞速町

氏御立會の上殿正なる抽籤を行び右當籤候に 甲乙丙種共各組共通

第十一回購買會第四次當鐵廣告



伊 二三金月十十百 う 日ら八 る 間丸圓 催 專 H

送られ、小さい人々の真びこ の盛況、ナイープでは、農衆 各小學校及公學堂生徒、農衆 各小學校及公學堂生徒、農衆

祝賀會を開催

第、一大腿が卵を行ふ、此間関東 で日支人合同の殿質変を開催す が類に同五時からは略和圏にお をが類に同五時からは略和圏にお をが数に同五時からは略和圏にお で日支人合同の殿質変を開催す

を続りだ、探覧がされれば都の不認に一たい探覧をごうよ

配する意ありさは誤解に苦む、 可成りの苦心と物性を擦つてる可成りの苦心と物性を擦つてる可成りの苦心と物性を擦つてる

日出團 數發費

食

御家庭用には小罐が 台所に具へて御愛用あれ **徳用で使ひ頃です** も手頃です、 ぜひー

値に段え

物を召上つて美味い 同成分です、 と思ふ味は味の素と **美味くするには之を** 人れるのが一番近道 だから

凡ゆる料理に ぜひ必要な



支那側が指角の好意したのであるから工

の質問に答べ曰く

はツャシイフ

支那軍の

倒張學良

廣東派が頻りに策動

田一行を始め職員及び終代員吉田大 ・ 一行を始め職員及び終代員吉田大 ・ 一行を始め職員及び終代員吉田大 ・ 一行を始め職員及び終代員吉田大

英支共同

委員會

賠償金使途の

調査委員が招待 代理公使

さて部局警察さで共同整理をなして大売額をしたので本六日は軍隊 生

紫熊織さなった

大角海相けふ

調査委員ご會見

際所書記官等であった

わが空襲に

前十時支那調査委員長リットン郷一會合するに決定した。東京七日簽】大角澤相は七日午一一日、二十三日兩日

狼狽した蔣

囘復を以て

戰略拙

各國武官の

昨日來りが最前線を覗き 邦人續々

は既報の通りだが支那個の傾報にに多大の撮話が繋へ大勝い傾せるに多大の撮話が繋へ大勝い傾せる

谷員會に

成績良好 開北巡回治療 人は未だ不安を感 四月

以降事件費

の内側に草花の刺繍からた、ひご さういふ二人の強んだ威懐か、 東 そんなやうに 思つて 吉五郎は、 犀

「や、君だつたか」

追加豫算として計上

上海兩事

始めさして中央銀行を洛陽に設置

する事に決した

部屋が出たり還入つたりした。

かひざく復観してゐた。

「鬼に願さん、下にゐるかい」

く紅城さしたカーテンがかとり、

吉長吉敦現狀報告

然民委員会の役員解解れは目下議長

南翔の支那人

ル路一点は期

るが支那 てあたが我空襲にあひ馬章猿狸

取りつ取られつ(五)

ったので、棒球騰捌なざには役立ったので、棒球騰捌なざには役立

枝

史

郎

の謎

伊藤順三

を必止京の挨拶を述べた後、昨年 前九時や大餐匠秘書官を供い他田 前九時や大餐匠秘書官を供い他田

犬養首相け 園公訪問

洛陽に設 銀行

極めついあり、江西南部離州は最近経々その魅力を増大し張洲南京六日後』江西方廊の共産軍

一、洛陽を臨時首府さなる一、大赦をなす事一、大赦をなす事一、大赦をなす事一、大赦をなす事

歐米各國の日支事性に蘇する態度家と帝國政府の態度及び國際職監

總選展結果及び臨時

州並に上海事性の經過で滿家新國九月十八日滿洲事變象症以来の滿

江西の共匪猖獗

政府軍三ケ師を派遣

の本日第三師(陳献指揮)第一なが、國民政府は之が教授

陸の都を西安さするものである

京が水の都なるに野は後に、其他

東鐵露人從業員口

共産黨員で固む

勞農の對滿政策變

15

「おめえひごく周章て、ゐるぢや

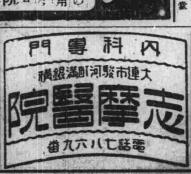
IIIO

になっ 「ジョ、冗談、集通ア云ふれえ」

藥學博士 下山順一郎先生 0











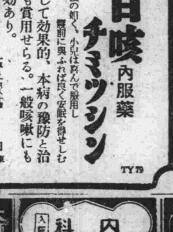
























ジュネーグ六日登】職監總會開會後は次の總會送常任委良會の手で上海能越を取扱ふ事さなった、常任委員会の役員解験れは目下議長一三日中に總會の宣言決議を作り一先づ閉會するもので終られてゐる。 日文問題取扱ひを附託しるべき態度を決定する響であるが、總會は小委員會を任命し九月の總會まで日支問題取扱ひを附託しるべき態度を決定する響であるが、總會は小委員會を任命し九月の總會まで日支問題取扱ひを附託しるないが一方軍繼會議もあり、何時までも總會を開いてゐる譯にも行かないので、七日の會議で討論を終れば、較部會を開き總會の き決議案作成のため多分八日午後非公開の小委員會が開催される事が一マン氏の手間で考慮中であるが、委員長にはギリシャ代表ポリティス氏最も有力観されてゐるが 閘北警察權代行 盟總會は 表だ 何等決定的結論に到達して

支那側反對 か表明 無にするなら勝手にしろさいつて 上部局を憤慨さす

國際裁判で

損害解決

郭泰棋の意見

戦意を喪ふ

□キロの地域内には全く敵談なき ・ 東京の地域及び南は蘇州河以南 せず現位置を確保するに決定した ・ 中野の地域及び南は蘇州河以南 せず現位置を確保するに決定した ・ 東京のお果、黄河の西方 て来の限り現在線より一歩も前進 ・ 東京のおり、・ 東京ので、支那軍が反撃し 我軍、現地位を確保 支那軍反撃し來ぬ限り

事の急襲により狼狽して

回治療の成績は甚だ身様で、五日

連れ男氏は七日朝八時養卵車で來に連れまたは七日朝八時養卵車で來に

(地圖つて一體ざんなものなのだ

佐藤麻次長に現財報告からた

通縁さ一緒に朱代順が、自動車

「ふん、鼠へ錠を下ろしてか」

ちつさも見ちやアない

帳簿の整理なしてゐたのさし

さんの秘書だからな

俄に興味を持つたのであった。

此處へ歸つて來る

軍司令官が訪問

出來てゐる、自分の部屋へ還入つ庭を一つへだてた、別棟の建物に

新聞ヤマトホテルに入り同十一時 本中軍記念官を訪して【奉天皇 新】 分養列車で棄釈秘書官、山本警山岡隅東長官は七山午前六時四

同一本等的一

■「あいつの部屋に殴してあるんだ」 はひ出した。

「臭いつて、実測な、何が臭いも」

一日東京七日

葉梨新五郎

九路軍が二十

に突入の際腕を貫かれ名譽の歌雄少尉は一日の歌観において敵場において敵

兩少尉戰死

會議は昨日勝會され左の決議をなって 國民職の第二次中央執監委賦全性 なる。 ないのは、 ないのは、

不軍司令部移駐

政友對議

教育家、行都洛陽、附都西安

繋いた吉五郎の眼の前で、雌が

那に其の資格がない。

本庄軍司令官は多分九日赴長

決議事項

をない、関係では、は、ないのでは、 をないか、は、ないのでは、は、ないのでは、は、ないのでは、は、ないのでは、では、ないのでは、では、ないのでは、ないでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないでは、ないのでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは

通常議會に提出

間北の警察権、工部局で代行せ

支那側器せず、抽象館

あったっ

中央執監會議

統創を受け戦死した旨

ごし戦急なき粉土の御機戦取り。 成さる戦り我彼れを戦すさある。 が土に出した通電には、日軍我を が土に出した通電には、日軍我を

なに痛慢だらうかさ考へた。 さんなに痛慢だらうかさ考へた。 ざんなに痛慢だらうかさ考へた。

古五郎は母屋のがへ行かうさし

間に、矢張り旨くひつかき てこの部屋をちょつ

が込む音がした。 「ナニ云やがる。 調がわかられ 「いいから俺を部屋へ入れて

私は眠さんに叱られらいし

友田合資會社







屋梁順!

内地方が 大の地方がまで申込 を開発して、 東京単幅リニノニ 本 48



子宮收縮作用を以て短時の前の目的を建する確實の前の







首

都

忙しい提灯屋

奉天出發

兵匪を掃蕩する

寗古塔の天野○團

空中爆撃で

日

曉また湯

安東七時着南行列車は湯山城風風域間で賊の襲撃を受けたにが織掛岬に際り安東光倫隊も同時に出航し脈脈蜒よりは疑形弾車が繋艦にあり、急戦に機と安東緊緊撃では國武隊部以下午前六時四十五分登急役弾車で「八十時二十五分」交験中、なほ東北方の山上に皮脈である。 北方の山上に肉眼で見える約六百三十分頃またく逆襲し来り、瞬より約十四年の戦をでは、光帝隊は協力してこれと交戦

谷地か

ら救援隊急行

り襲はれ乘客

名負傷

警乘員五名が應戰 車體に彈痕が六、七十發

御健やか

順宮様初の

ける側近者賜謁お祝

長を迎へさせられた順宮屋子

内親王殿下の御鷹軍並に御

古塔にも朦朧することさなり七日を悠にも日完成したこれと同時に将む七日完成したこれと同時に将 飛行場を開設

響に於る天野○際は市民から空前一表は派へ息軍の駐屯せんここを職【常古塔神蔵特派員七日發】衛地【常古塔神蔵特派員七日發】常古一の歡迎を受け越遊戲長端め谷代 我成力を一小す 我威力を示す

武官長、河井皇后宮大夫以下 御をあつめさせられてゐる

七二・五センチメートル 御身長

八の身邊を嚴戒

部歌への最後の使者である『奉天電

午前八時三十分發にて測儀氏

常年歌、修饗歌、その他参加希望 会學校、在編事人會、常年訓練所 等學校、在編事人會、常年訓練所

學常四年以上、高等小學校、中行列参加壓燃は認常小學校並に

旗行列參加者

名和軍醫赴滬

熙氏今夜來長

新首都いよっ

一人及び新國家越國式に参列するた古林省長官際治氏は垣儀氏を出迎

・分響吉長列車で吉林より來長 が、摩伽兵は観散線標兵中より心民会解演奏氏は六日午後八時 で売貨駅傭のため來長と決定したで四本線網由七日午後一時養卵車で四本線網由七日午後一時養卵車

命に避ら土流に使くこと、なり土田出大事族で急いで独鳴られ

大汽の慰問使

ける上海へ

天氣隊就

元首の警備兵

建國式當日結盟

全滿興亞學徒聯盟

多数の見送り御窓飯上版に配った さして送る事さなったが野田敷粉 さして送る事さなったが野田敷粉 さして送る事さなったが野田敷粉 では水地社員同伴、安田社長その他 が成り、安田社長その他

醫大を中心に準備

一連山村成島書祭

裝甲車を献納

電話 四四九一

の天野○職は王徳松郎下の便玄跡 が市中に多数潜入しわが軍の低祭 をしてゐるので來る三月十日の陸 をしてゐるので來る三月十日の陸 武器引渡を

血族取り調べ

太連の建國祝賀式

日のプ

U

金巾サルマタ

藝妓の捜査願

市民參加

强要脅泊 敗兵が海林

と海林西が約五支里砂臓鏡に蝦鹿 心海林西が約五支里砂臓鏡に螺鹿 で海林西が約五支里砂臓鏡に螺鹿

『東京七日教』不虚の死を達げた 一位ではれ午後八時代式を終り一同 ででは、北京教教教師、野界知名の友人 では、北京教教教師、野界知名の友人 では、北京教教教師、野界知名の友人

総務派、式場係、行建市民の配質式は十

故人の人格を稱へつつ通夜ない

神然大集階さな

市内平和銀六七番地料理店販品機 市内平和銀六七番地料理店販品機 のもさに行くさ稱して外出したま 共に市内に罷伏して居ること地明 とれので機造線 上されて機造を したので機造線 を晦まし市内契映画館総士と 大に市内にで機造を したので機造線 を明まな原氏より七 したので機造線 で機造を を明まな原氏より七

(星送グロタカ)

市内浪速町一丁目濱恒ビル三階十 手提金庫盜難

四號代氏フェは六日午後七時ごろの手提金庫か盗まれ大連署に関うの手提金庫が盛りに除りた便かの問に帰者が室内に換入概期の根据の手提金庫が盗まれ大連署に

講

習會

員募集

阪義路

電氣學校

田

業授間畫

慢性痼疾な 諸八二六三番

業授間夜 一、授業開始

電氣五十名(毎日授業)電氣五十名(毎日授業)で、二十名、今年の一名、建築三十名、北本三十名(以上隔日授業)の、北文、二十名、文那語四十名、鎌龍四十名、珠算四十名、タイプライター等、集料目、及人員 四月十六日(永午後六時)

電話五四六二番ル木

器九五八四語電

2



職時に於て告を式相等可 ・ 通常三月八日午後四時後 ・ では、一年後一時では、一年後一年の ・ では、一年後一年を ・ では、一年を ・ では、一本を ・

背後の關係

隊の

特に選定したもの

松少期も特に影発した在前民の際「新一千餘名に夢し感大を極めた

告

正確な報道感謝

きのふ真茹で

南く 判明し來る

血盟五人男を捜査中

團男暗殺事件取調べ

川崎長光召喚

張景惠氏が新聞記者團招待

二月八日出帆長城丸(はるびん丸代船)二等滿員

八畜無害の 南京虫、 しらみ撃滅は

イマツ蠅取粉に限る

本舖 今津化學研究所

縣新宮 器病一切 九六四六番

かざや油舗

- THE REAL PROPERTY.

支店

0

大連市若狭町 用

米穀商

ーシン〇 是 洋 管 行

ぜんそく治療 の競争三丁目

若傻鳥 大 海 連 市布乾老貝 海場のはありかられる。

剁

海洋 心 の 所 行

三月二十一日(祭)三月二十一日(祭)

生徒募集 柳町 九八番地

大連市磐城町十二番地恵の田上ます。 横面の御師負御引立を賜はります機偏に御願申上ます。 大連市野はります機偏に御願申上ます。 大連上ます。 横而此度皆様の御襲めに依りまして花びこの跡の和かな春の暖さの折柄御算堂様感々御機嫌麗はしき御事と謹で御

本思議に治る療法 世 基邦一度例試み下さい。ごんな慢 は 基邦一度例試み下さい。ごんな慢

胃腸病が

二月七下 大連市磐城町十

内弾三勢士

買イマス・

際田タンス指物工

電話六八一

备店

を 揚天ぷらと ゆき 整一 温料理

O

受験戰突破醫

柳霞堂・

藤田タンス専門

操提

さ思ひ出した離馬さお梨花の事役は、今、好中の話が聞いて、

之丞は心の中で思った。

であった。 一般であった。 一般がであった。 一般がである。 一般がでな。 一般がでな。 一般がで。 一般がでな。 一般がである。 一般がでな。 一般がで。 一般がで。 一般がである。

は彩か引いたやうに、味

、除手を膝に置いたまゝ、考。

男士」の各社療験が愛園心をそいまなもうけてある、更に「肉頭三法をもうけてある、更に「肉頭三法をもっけてある、更に「肉頭三法をもっけてある、更に「肉頭三法をという。

沙州

ものをかかげ道行く人の法目をひてあるが東京保樂部では館前に大

何百里」なやるで観客は何時の映中伴奏樂さらて「ここは御國

バッキング材料一

英國ターナーアスベスト合配製 ローヤルジョインチング低酸、高壓用 ロートバッキング ロモトバッキング

體3887●5798番

おでん

瘾者治

渡速町一の棚舗」

奉天商埠地(天西嗣節) 附屬地境界

時 太

演共子京并櫻・清 田澤

演共雄春中田·代春川市

篇後前南卷八十雨

票即院

三日大公開

小鉢物 御中食

ありいづれ

海事變ニユース映画を大概上映し

特趣新棋戰[共三]

御進物に御茶菓子用に好適品

西廣場

器三四五七・二二五

船台

外三千種類品豐富

平手 先四段△建部和歌夫

七八から、二十歳ほのっさは、いづれも、番を

戦威のやうに盛上つて来たがに任。

日章旗が出ると

花の屋分舗の特製品

觀衆脱帽し萬歲

淺草映畵街のこの頃

を二つ三つ越えてゐるだけで、「整三」はれた一人が、二十歳の「なこもは、使八の前に、きちん」がごもは、使八の前に、きちん」がごもは、使八の前に、きちん

れるのは常前ちやないか、像塗の とい女ごもな、親切ごからに口伊八は、外の師ぎに恐娘立つた

つた無持に、旅に出る松鉾な無持にしてが手傷つて、窓々手織を持たして り後を遣つて来たのだ、さうしてつかい事をさせたのであった。 見たい、それも心の底に様だはつてぬ かい、それも心の底に様だしてやりた がっきり一打ちに斬餓してやりた い、それも心の底に様だはつてぬ かい、それも心の底に様だはつてぬ かい、それも心の底に様だはつてぬ かい

十日から 八公の頓狂な野が聞えた。 念は開催 協和會館の

協和會館のトーキー再生裝置は部で上海から戦着したので七日繋流のため延びくしてするたが、五日夕入港の英國貨物船ので上海から戦着したので七日繋流 間第一回トーキー映画會な確すこ

て大きでき、揃売が二十人ばかり さてざららに凱がいよ なてざららに凱が

首を垂れた。それは、光は

江 路至

連鎖街の●

ラの爆と作るは書手で感死し作るは!!

料金順上せず三十録 しまする ひまする ひまする

的

文人保滿 天原の

⑥ 白 鹿 五 十錢

二十五錢

鳥意意

ドコへ行テモ 鎖カタン、②絹糸 者 患 毒中

0

ンイカコ.ンイロへ.ヒモ.片阿

絹ミシン糸、DMO

糸、鳳凰絹小町、

費カケ針

振東化學研究所大連出張所大連出張所

△詳細內容は御一報次第御回答印

なる中毒患者で雖ら一週間位の

治療專門 大連市大黑町三三 大連市大黒町三三

(トツセルコ胸治)器定**壓部胸** 號四〇四八八許特賣專 動節木タ 駆定ネタ 肺疾患治療の新方面 滿鐵保養院長

痔性內 疾病、科 切X 光外 設科科

置寬丙



三二年型 何と健康色に モダンな白さ美しさ

S.K. 202

社會式株菓製治明

かけっぱい 合格に 畑をい

10,000

愛嫩開

学の映場にろことる至の内場日 十男三曜内烈忠リ は類比に昇世!風鳴きなむしか働い神鬼リ は面のことはで懸ねな歴典のそ。「教験の神病を封

バラマウント特作發擎(日本版) 間 課 X 27 作後女は誤牒さらての任務を奪った。 たが女は 女 要ロボットではない。 陶奴と罵られ。 裏切者と 女 費められても。 観示な戀に生き度いのだ! 封 スタンパークは通り一遍のロマシス作者では 切 ないのだ 江東デ四 ② 日の

遠藤繁清先生考案

歴定板は全部伸縮自在 大型左胸右胸 一個定債二十圓也 中型左胸右胸 一個定價十八圓也 發電元 整後藤風雲堂大連出張所 大連市山縣道 二五番地(電話五二二五番) 本店 東京 支店 大阪 出張所 京城 札幌 世界的權威藥の出現

华印·尼西蒙

株式一齊に反撥

三、滿洲特産物の輸

北浦州に於て之等 ため常野せ

重要物產組合長 津久井誠一郎氏

取付騒ぎの

の東連、統十日間に真りの東連、統十日間に直報を發したが、氏

第一回日米

大阪期米 前場等前場引 限 12元 180名 限 12元 180名

大阪棉花 一大阪棉花 一大小

愛知縣の經濟

入つた大連汽船 基礎漸く鞏固を加

度国絵の総合を記上するを得た、 度国絵の総合を記上するを得た、 安田

市

况

産

物。綿

東京期米 順場所 前場引 前場所 前場所 前場所 前場所 前場所 前場引

人阪工業會の

滿蒙視察團

來月早々來滿の豫定

内保留金の如きも三百五十萬餘圓 社の基礎は軽く繁固を加へ現に社 を監することにもた、かくて我が を監することにもた、かくて我が 遼河

連する冒大連樹譲にで対ける世界が、大なないでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、 人氣添はず 一齊 秋 羽 で各品共人氣引立たす一層 秋 羽

完成、五月からはな人引越すことに達してゐる、新社屋も四月には

喜な克恵 | 重る外

引申寄引寄引寄。 三二二 八八八 | | | 限位: 一八八八 | | | 限位: 一八八八 | 1 | 限 位: 株(弱保合) 三十二四十錢 六十圓三十錢 哈爾濱

公公||||||限 吟爾濱 100111量的企業付 公共 (岩岩)

國際運動機

草豆 表表 合金 章 共汽港 1128811

神 戶期米 前場寄前場引 限 15元 15点

況 关準行

相

野大大換高(七 II) 手形交換高(七 II)

十十七五



だって流波計員 特線の株屋 出 勉强 **羊**類 ●五四三三●八一上三潭五四町|島散車大

神航路典賦荷扱点(大連須藤町、 電話型五二六五・四六八一 電話型五二六五・四六八一

【京城六日發】

國際連輸林大連支店與河份拔所(大連山縣通)

理上的理

大阪商船(株式大連支店) 理店 雅河(東山東 末) 宗 目阿波共

取 摄 所 九 一 商 會 大連市山縣通電話 七八四六番 大連市監部通音要攝

大阪商船特式大連支店 大阪商船特式大連支店 大阪商船特式大連支店 可朝鲜细

大人版神戸、大阪神戸、大人版神戸、大人版神戸、大人版

州農産物需給と 共輸出貿易に就て

特産三團體主催講演會の要旨の

大豆輪出餘力 二年第10

| 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 1

数類(輸出除力一、左下三)

齊克線出廻 昨年より四千車減か 作柄不良ご出廻遲延

三十一日附議

大連會屯金融組合二月中の紫緑は

二月中業績會屯金融組

不年度特產物

金(単位国) 金勘 4 小洋勘定 九六四 104 五六 九八四 八108 八00 11 美五 九八以 11 美五

金•

一二二二名

資源調**查**

長は七日朝齢連し直に出社、局に出社、局に出ているのであった斯波流鏡技術

金勘定 小洋勘定 小(元) 1至0 40 北(元) 1至0 40 五(元) 20 五(◆:滿洲國の建設 ・・「本り滿家の平 ・「より滿家の平 ・「こり滿家の平

さっことは事徐出來るで 以早暖斯うした候類な 回家の氏力鋭嚢対策が

常市保

全朝日米貸替三十二弗丁度 (二分の一安) 米日三十二弗五十仙 (二十九安) 海外銀塊區々な入れ當市保含商駅に終る、浜申七十三両四五、浜畑六十八両八〇、大洋百一

出 遠期 來 寫 期近

2.409.1

9.069.9 1.793.1

51,530.9 7.400.0

4.179,2

1.215.8

29.8

992.8 200.9

1523

1.427.3

4.374.5

8.816.1

1.123.1

106.878.3

701.2

194,9

1.473.4

1,253,3

5.730.5

346,779.4 286,365.9

8,500,0

1.484.4

16.138.1

2,693.9

1.000.0

1.012.3

6.4

23.0

262.6

4.361.0

7.804.2

1.732.4

13,301.6

1.033.8

276.1

2.412.1

9.141.4

1.002.4

850.9

計豆豆绿米

米米子麥麻

殺酣

令定期前、碱(單位錢)

麻袋氣乘海

糸も閑散

大川紙の 四 五 洋 間間

院

各紙種屋

EEG > 岛团河三埠应西市建大

電話六一一七・六一コスト連市加賀町三〇

穀粕粱豆

大連汽船

你問題語 海圖 販資所 考二十十十汽品資祉 美二十十十八八名資祉 縣鄉縣 朱式會社大連代理店 解解縣 大連市山縣通電話 七二九四六条 大連市山縣通電話 七二九四六条 大連市監部通音要